

地方史情報 165

2024年1月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	神奈川県	28	和歌山県	49
岩手県	3	新潟県	31	鳥取県	50
宮城県	3	富山県	31	島根県	51
秋田県	4	長野県	32	広島県	52
山形県	5	静岡県	36	山口県	53
福島県	6	愛知県	39	香川県	55
茨城県	8	滋賀県	43	愛媛県	56
群馬県	10	京都府	43	長崎県	56
埼玉県	11	大阪府	45	寄贈図書	57
千葉県	14	兵庫県	46		
東京都	17	奈良県	48		

北海道

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇74 2023.11 B5 80p 1000円

表紙絵図 屯田兵計画に関するロシア公使の質問状(明治7年4月13日、
国立国会図書館所蔵)

巻頭言 未来に伝えたい屯田兵の「魂跡」

梶田 博昭

子思孫尊 入植から137ぶり兵村を探訪

江別屯田五世 フィエ・リタさん

編集室

会津土道三代・白虎隊・看守長・校長・町長・小学校教諭

若林 滋

翻刻版「三澤日記6分冊」(2)

中隊の編成、陣心得などを記録

記・梶田博昭

十一年蚕事務取扱順序／各種作物の栽培法(抜粋)
 屯田兵のデザイン考 雨竜屯田兵村の洋鐘 合図は喇叭それとも鐘？
 表紙から 古文書録 樺太派兵の風説をめぐって
 明治7年・外務省柯太境界談判関係書から
 古地図の散歩道 「後志国図」(北大図書館北方資料室所蔵)
 後志国図 幻の赤井川カルデラ兵村構想 宮内 隆一
 一節抜粋 末岡照啓著『五代友厚と北海道開拓使事件』 政商と官有
 物払下事件の深層に迫る(K)、舟木秀男著『開拓者の足跡を訪ね
 て』 「令和の移住」を視野に開拓者の足跡を追う(H)
 北海道におけるキリスト教の歴史と開拓 北国 諒星
 屯田兵ルーツ情報 消息情報 篠路・江藤虎喜氏、南一已・中西常次
 郎氏、伊予松山藩士・宮内克明氏とその子・克修氏／「屯田兵日記」
 の舞台で現地ゼミ開催
 四通八達 宝島の繁昌記 (K)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階
 TEL011-271-4220 <https://hokkaido-bunkazai.jp>
 ◇396 2023.11 A4 8p
 受け継ぎたい美しき北海シマエビ打瀬舟漁 三原 萌佳
 道文化財保護功労者 長年の伝承保存 3団体 11月10日表彰 軽
 舞熱送り保存会(厚真町)、大注連縄保存同志会(中富良野町)、厚岸
 かぐら同好会(厚岸町)
 現地学芸員・専門家が解説する
 北広島市・恵庭市・千歳市の歴史と文化を訪ねて 車田 秀美
 北海道廳立農事試作場について 舟山 廣治
 シリーズ 伝える北海道遺産 仙台藩白老元陣屋～幕末と明治維
 新を生きた北の防人 武永 真
 まちのイチオシ 大地の不思議 謎の「壮瞥穴」 中岡紗恵子
 文化財 NOW 6 地域総がかりでつくる文化財保存活用地域計画 石垣 秀人
 MUSEUM ひろば オホーツク管内唯一の総合博物館
 北網圏北見文化センター 市川 岳朗
 観る・学ぶ！ 道内博物館・美術館・文学館の催事情報
 子どもの文化財愛護活動① 化石「タカハシホタテ」発掘に真剣！／
 子どもの文化財愛護活動② 羽幌中学校で出前授業

岩 手 県

◆もりおか歴史文館だより もりおか歴史文化館

〒020-0023盛岡市内丸1-50 Tel019-681-2100 <https://www.morireki.jp>

◇15 2023.3 A4 8p

館長だより「ふたば」vol.11

柴田 道明

名誉館長就任のお知らせ／ごあいさつ

南部 利文

2022年度事業報告 第35回企画展「南部家のたしなみ一舞う・点てる・聞く」(担当学芸員：小原祐子)／第36回企画展「殿さまの1年―盛岡藩年中行事を紐解く」(担当学芸員：熊谷博史)／第37回企画展「宝裕館コレクション寄贈40周年記念展 裕かなる宝」(担当学芸員：福島茜)

歴史文館レポート

特別展「南部鉄器展2022」

小西 治子

第4回もりおか歴史文化館自由研究コンクール

太田 悌子

歴史文館スタッフ伝言板

大櫻 薫

宮 城 県

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科

Tel022-795-6022 2005年創刊

◇17 2021.12 A5 152p

随想：恋するグアテマラ

大村 哲夫

倫理の進化―狩猟採集時代にみられる倫理と民族誌、近現代、および

災害時にみられる倫理の類似性

勝丸 浩之

日本におけるアニミズム研究史概観

馬場 裕美

神話から見る琉球弧・宮古集団の由来

～新しい「神話学」のパラダイムを通して

宮川 耕次

「甚六」の役割―格差問題の理解のために

物部 朋子

書評 松村一男著『神話思考 Ⅲ世界の構造』

佐崎 愛

◇18 2022.12 A5 227p

明治期ジャパノロジストと祖先崇拜概念―実証研究の前夜

間芝 志保

アイヌ口承説話における「熊送り」の検討

―「互酬性の物語」の理解を目指して

馬場 裕美

医師が患者に臨床宗教師を繋ぐプロセスからみえてくるもの

ーインタビューデータの M-GTA による分析	金田 諦晃
戦後台湾仏教の発展と変遷から臨床仏教宗教師の誕生に関する考察	方 東岳
広島平和記念資料館対話ノートから見る原爆の記憶と死者	廣田 香
羽黒山における開山伝説の歴史の変遷	伊藤 瑞恵
揺れる戦死者慰霊・顕彰運動	
ー『忠霊塔物語』と能「忠霊」に着目して	岡本 美憂
タカラガイ形土製品が意味するもの	佐藤 亜美
◇特集号 2023.12 A5 126p	
序文 「災害で残されたもの」に向き合うー遺体・魂・遺産	
大量死後の不完全な遺体や遺体の断片という認識	Elisabeth Anstett
関東大震災と遺灰・納骨堂・墓	間芝 志保
3.11での大量死への対応～学際的な視点からの予備的な教訓	
Sebastien Boret Penmellen／佐々木宏之／木村敏明	
子どもの死と卒業証書ー東日本大震災における慰霊と癒やしの形	大村 哲夫
ムバ・マリジャンのペティラサンーインドネシアの現代ジャワ社会に	
おける災害後の聖地と世界観の変化	Suhadi Cholil
東日本大震災によって生まれた臨床宗教師運動	谷山 洋三
用具を通して伝える無形文化遺産の被災とその意味	小谷 竜介
無人の再定住地とその活用をめぐるレジリエンスーネパール・ゴルカ	
地震、モデルヴィレッジ・プロジェクトを事例に	工藤さくら

秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会	
〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊	
◇80 2023.11 B5 28p	
表紙 毛馬内盆踊り（鹿角市毛馬内）	
特集Ⅰ 秋田歴研協第29回大会記念講演 秋田スギ温故知新	宮澤 俊輔
特集Ⅱ 春のフォーラム 民俗芸能の継承と課題 毛馬内・西馬音	
内・角間川の盆踊りを考える バネリスト：馬淵大三氏（毛馬内盆踊保存会長）・佐藤寛悦氏（西馬音内盆踊保存会長）・鈴木直道氏（角間川盆踊り保存会長）、コーディネーター 麻生正秋（秋田歴研協理事）	麻生 正秋
用語解説 学田（がくでん）	半田 和彦
歴史情報 新刊案内 『秋高百五十年史』	渡辺 修
文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報	

山 形 県

◆伝国の杜だより 米沢市上杉博物館置賜文化ホール

〒992-0052米沢市丸の内1-2-1 米沢上杉文化振興財団 TEL0238-26-8000

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

◇44 2023.9 A4 8p

特別展「上杉氏と国絵図の世界」／国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示

博物館からのお知らせ 特別展「上杉氏と国絵図の世界」／企画展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵」／コレクション展「国宝「上杉家文書」の世界Ⅶ一形に見る戦国時代の特徴」／常設展示室上杉文華館 年間テーマ：上杉家歴代の文書管理と歴史編纂—国宝「上杉家文書」と上杉文書／モールの展示作品

博物館からのお知らせ 教育普及事業 Hands&Heart～手とこころ

でかんじよう プレイショップ×造形、募集制ワークショップ

収蔵品 学芸ノートから 「武田上杉川中嶋大合戦圖」

一勇斎(歌川國芳) 江戸時代 大判三枚画

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 1987年創刊

◇37 2023.11 B5 68p 700円

本間郡兵衛の嘉永元年「長崎行日記」について

小野寺雅昭

民俗文化継承にみる武家との相關事象

—「山形学」フォーラム覚え書

菊地 和博

異本 羽黒山往来

市村 幸夫

山形県における山田秀三のアイヌ語地名調査

清野 春樹

月山の強力と休み場

渡辺 幸任

上山藩 絵師 丸野清耕とその弟子丸野耕秀(後の青山永耕)の真相

—来歴や諸著述(先行研究)との相違点

野口 孝雄

天童市内の神社史をめぐる—神社の由緒と別当寺

村山 正市

芭蕉の出羽三山登拝—曾良旅日記の謎を解く

岩鼻 通明

県内の主な民俗関係出版物(2022年9月～2023年8月)

2022年度山形県民俗研究協議会事業報告(2022年10月～2023年9月)

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内

TEL0238-22-7330

◇39 2023.10 A4 194p

《蘭部寿樹教授定年退職記念号》

蘭部寿樹教授の年譜と主な業績

出羽湯殿山即身仏の信仰と思想・社会一鐵門海を中心に

山澤 学

中世前期における女院と後の位置づけの変遷

山田彩起子

中世村落史研究と私

蘭部 寿樹

史料紹介

山形県公立大学法人附属図書館所蔵「林泉文庫」目録

石黒志保／阿部光柚

金華山参詣ニ付道中諸入費記簿・湯殿山参詣道中日記簿

日本史学科第六研究室

名主座木札について

蘭部 寿樹

笹野観音堂史料に関する研究(4)

笹野観音堂史料研究会

『看聞日記』現代語訳(28)

蘭部 寿樹

2021年度卒業研究要旨(補遺)／2022年度卒業研究要旨

福島県

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 TEL024-534-9193 2002年創刊

<https://www.fcp.or.jp/history/>

◇67 2023.10 A4 4p

享保十四年のオーロラ出現の記録

小野孝太郎

大坂冬の陣と高野郡南郷の在地社会

渡邊 智裕

近世前期奥会津における会津暦の頒布

小野孝太郎

伊達郡藤田村に存在した「御竹林」

片村 峰雪

明治時代の県会選挙

山田 英明

福島民報と福島民友新聞の論戦

山田 英明

◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇51 2023.11 A4 4p

鷹峰山常光寺さん（福島市清明町）を訪ねてきました

御本尊に驚き！藩主板倉勝俊位牌にまた驚き！

豪州見聞録（オーストラリア見てある記） 2023.9.19～9.30(1)

昭和の妖怪・福島の怪物：織田大蔵氏の墓

◇52 2023.11 A4 4p

令和5年10月8日 96年の歴史の幕を閉じました

福島市北裡の最上位稲荷閉眼供養祭

豪州見聞録(オーストラリア見てある記) 2023.9.19~9.30(2)

◇53 2023.12 A4 4p

本宮の富春山石雲寺を見せていただきました

准胝観音像も涅槃図もあの人のお墓も

豪州見聞録(オーストラリア見てある記) 2023.9.19~9.30(3)

“ANZAC アンザックスクウェア”

石仏・石塔・石碑を訪ねる(3) 死霊権現(下野寺)と死霊神社(岡部)

◇54 2023.12 A4 4p

西学習センター主催ヒストリーウォークガイドを務めて考えたこと

“湯愛(ゆめ)舞台”と“円形校舎”と“興徳寺太子堂”

豪州見聞録(オーストラリア見てある記) 2023.9.19~9.30(4)

サンデーアフタヌーンティーコンサート

◆安蔵つうしん 「鈴木安蔵を讀える会」ニュース

〒979-2533相馬市坪田字八幡前21 志賀勝明方 TEL0244-26-4645 2022年創刊

◇15 2023.10 A4 2p

地震やシロアリ被害の修復工事が完了 皆さまのご支援やご協力に心から感謝申し上げます／「鈴木安蔵の旧家修繕 南相馬」(2023年10月15日『福島民友』)

鈴木家住宅

◇16 2023.11 A4 2p

修復後の鈴木家住宅で、初の展示会を開催

小高の秋まつり〈移りゆく町「小高」の姿 すぎた和人写真展〉 若松 麟二
安蔵の小高に魅せられて 「憲法草案を起草した男—鈴木安蔵」
(2013.9『J-one ジーワン 6』より) すぎた和人

◇17 2023.11 A4 2p

「民衆の憲法学」に変えた鈴木安蔵 映画「日本の青空」は、「九条の会」講演から生まれた「ニッポン人・脈・記 神と国家の間(6) 統治権ハ国民ヨリ発ス」(大震災前年の2010年2月6日『朝日新聞』)

◇18 2023.11 A4 2p

「鈴木安蔵を讀える会」のこれからのこと／役員・事務局より 山崎 健一
志賀勝明さんへ

『そこに原発があったから』(遊行社・1800円)掲載 菊池 和子

茨 城 県

◆茨城の民俗 茨城民俗学会

〒310-0036水戸市新莊2-8-16 今瀬文也方 TEL029-350-3310

年3000円 1963年創刊 <http://www.minzoku.net>

◇62 2023.11 B5 163+22p

《60周年記念号 付『茨城の民俗』総目次集》

南川又の「盆綱」	杉本 妙子
全国桜前線を追って一沖縄から北海道まで	久家けい子
日立の天道念仏信仰	大森 政美
最後の鳳凰台城主大生弾正平定守と息子	
大野仁兵衛と市左衛門定年について	清水 秀世
霞ヶ浦出島の墓制(4) 近代における共同墓地の新設と「大正墓地令」	
一加茂地区松本集落を中心に	古谷野洋子
千葉頭神が陸奥へ旅した理由(2)	黒澤 雅博
日立の百観音の伝承と背景	梶山 廣吉
平成の家庭菜園(2)	久家けい子
川崎市多摩区長沢の自然石大山道道しるべ	清水 亨桐
茨城県における三峯山信仰の成立と変遷(2)	近江 礼子

『茨城の民俗』第21号別冊—創立20年の歩み—一部分復刻

はじめに 創立二〇周年を迎えて(代表理事 藤田稔)／茨城民俗学会二〇年の歩み／会員ひとこと「二〇年をふり返って」／民俗学会の調査研究の歴史(講演会記録、月例研究会、談話会記録、機関誌「茨城の民俗」の総目次、茨城民俗学会発刊書籍目録)／あとがき／茨城民俗学会会員名簿

会のあゆみ 茨城民俗学会一年のあゆみ

「総合民俗調査報告書」(鶴尾能子)紹介(3)／茨城民俗学会刊行物一覧
茨城民俗学会の60年(40年までは、会誌第43号に掲載) 1 談話会記録／2 講演会記録／3 茨城民俗学会講座／4 現地研修／5
その他行事記録／6 会誌『茨城の民俗』総目次(第43号から)

創立60周年に寄せて

茨城民俗学会六十周年を迎えるにあたって	大関 武
「先人」から研究改革の精神を学ぶ	畑中 武利
貴重な会誌が永遠に続きますことをお祈り申し上げます。	大竹 幹夫
純粹に民俗学を楽しむ場として、存在し続けてほしい	宮田 妙子
現地研修の再開をお待ちしております	渡辺 一夫

残したい茨城の民俗

「継続は力なり」ですね

さらなる発信と発展を期待しています

六十周年おめでとうございます

六十周年おめでとうございます

会員の皆様、御殿木ですか六十周年おめでとうございます

茨城民俗学会創立六十周年おめでとうございます

入会時の思い出と私の関心事

六十周年おめでとうございます

諸先輩の方々と『茨城の民俗』に、感謝、感謝

照山 洋

黒澤 雅博

清水 秀世

檜崎 敏

梶山 廣吉

小松崎智子

清水 亨桐

平 宗子

大森 政美

近江 礼子



＊現茨城民俗学会は1963年7月に、「茨城民俗学の会」として設立された。会名は、原案では「学会」であったが、学者の集まりではなく、広く同好の士が参加できるようにとの考えから、「学の会」になった。発起人は外山善八(代表理事)、清宮裕(会誌編集)ら6名で、顧問に肥後和男、井之口章次らが名を連ねている。会設立への背景には、社会の急激な変化により、農山村の民俗行事が失われ始めたことへの危機感があった。発足の趣意書に、「近年、生活の変化と新暦の普及とにより、民間伝承は湮滅の度を速めており、日本人固有の生活や信仰を伝える伝承・習俗を採集・調査することは、民俗学に関心をもつ私達の急務であると思います」と、使命感が熱く表明されている。

それから60年が経過し、状況は当時を遥かに超えるものになっていると思われるが、今日まで地道に活動を継続していることに敬意を表したい。

本号には、1982年6月に発行した会誌第21号別冊「創立20年の歩み」の復刻と、「茨城民俗学会の60年」として(40年までのことは、会誌第43号 2004.12で特集)、2005年以降の談話会と講演会、講座の記録、2015年から開始した現地研修、2006年以降のその他の行事記録、会誌第43号～第62号の総目次、会員らによる「創立

60周年に寄せて」を掲載する。

群馬県

◆ぐんま八幡荘再発見伝 地域おこし里見の郷委員会 里見の郷出版

〒370-3344高崎市中里見町373 戸田書店榛名店 2012年創刊

https://www3.wind.ne.jp/book_haruna/

◇6 2019.10 A4 25p

《特集 上州一揆と戦国地侍—南北朝から戦国時代まで》

戦国大名・国衆・地侍

久保田順一

特集1 上州一揆

上州白旗一揆の時代

久保田順一

寄稿 享徳の乱処記における上州一揆の動向

長谷川明則

特集2 戦国地侍 戦国の境目を駆ける上州の商人と地侍

築瀬 大輔

特別寄稿 松田氏の祖 大隅守延吉

松田 猛

column

榛名・倉渕の城郭概観

飯森 康広

吾妻太郎行盛と里見氏

山口 通喜

中世榛名の鐘

久保 康顕



* 地域おこし里見の郷委員会は、2008年6月に、全国里見氏発祥の地(平安時代・1154年久寿元年頃・里見義俊公)を生かした地域づくりを進めることを目的に、高崎市里見地区の住民や県内外の子孫で結成された。

「里見の郷」を地域ブランドにした里見の郷フェスティバルなどの文化活動、歴史講演会の開催、「里見の郷散策地図」の作成、本誌の発行のほか、里見氏ゆかりの千葉県館山市や鳥取県倉吉市との地域交流などの活動を行っている。また、

大きな目標に、里見氏の大河ドラマ化実現があり、ゆかりの地と連携した働きかけを行っている。

本誌の創刊は2012年7月で、創刊号は「里見氏のルーツを尋ねて」を特集し、以後、不定期ながら、第2号(2014.2)「当地の中世を検証 里見氏と長野氏」、第3号(2015.4)「八幡荘の里見氏と山名氏 高崎市が発祥の地」、第4号(2016.4)「上野国は山内上杉氏の守護領国だった」、第5号(2017.5)「新田義貞 武家の棟梁への道」、第6号(2019.10)「上州一揆と戦国地侍 南北朝から戦国時代まで」を発行してきている。

最近の活動状況は詳らかではないが、同会ホームページには、「「ぐんま八幡荘研究会」設立し研究活動しています。(2023・5・1)」とある。活動の継続を願って已まない。

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇176 2023.12 B5 4p

真田氏最後の沼田藩主信直の人物像について

藤井 茂樹

村会資料から見る明治二六年の霜害

伊藤 克枝

第124回例会記事 篠原杏奈氏「沼田藩政における藩主「留守中」の意義—寛保期以降の政策実施過程に着目して—」(篠原)、井野修二氏「湯治の実相—明治の温泉案内から—」(井野)

埼 玉 県

◆あかんさす さいたま市立浦和博物館館報

〒366-0911さいたま市緑区三室2458 TEL048-874-3960 1973年創刊

<https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/002/>

◇120 (vol.51) 2023.3 A4 4p

1 浦和博物館テーマ展「さいたまの人々と鉄道」について

2 武笠祐左衛門・銀介親子の隠された生涯(続)

磨田 顕寛

◆榎りぼーと さいたま市文化財リポート

さいたま市教育委員会生涯学習部文化財保護課

〒330-9588さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL048-829-1723 2001年創刊

<https://www.city.saitama.jp>

◇88 2023.3 A4 4p

令和4年度埋蔵文化財の調査・展示紹介

厚さ2.7m以上の谷斜面部の埋積を確認
—国史跡真福寺貝塚の調査〈岩槻区〉
縄文時代前期初頭の玦状耳飾の発見
—琵琶島貝塚の調査〈西区〉
縄文時代中期の住居跡—西裏南遺跡の調査〈緑区〉
縄文時代中期と弥生時代後期の集落跡
—別所二丁目遺跡の調査〈南区〉
弥生時代の方形周溝墓、古代の瓦
—大久保領家遺跡の調査〈桜区〉
古墳時代から平安時代の多数の住居跡
—根切遺跡の調査〈西区〉
中世から近世にかけての土塁—岩槻城跡の調査〈岩槻区〉

埋蔵文化財の展示紹介

◇89 2023.6 A4 4p

さいたま市の文化財キャラクターが誕生しました！

「福みみーズ」と「サクラソウウサギ」

「さいたま市文化財キャラクター」制作の過程

「さいたま市文化財キャラクター」紹介 「田島ケ原サクラソウ自生地」キャラクター サクラソウウサギ／「真福寺貝塚」キャラクター
福みみーズ

TOPICS ボランティアガイドを実施しました—田島ケ原サクラソウ
自生地を守る会

◇90 2023.9 A4 4p

田島ケ原サクラソウ自生地が「未来に残したい草原の里100選」に選
定されました

見沼通船堀開門開閉実演を開催しました／TOPICS 文化庁選定「歴
史の道百選」見沼通船堀

無形民俗文化財が各地で公開されました 神田の祭りばやし／宿の祭
りばやし／秋葉さら獅子舞／駒形の祭りばやし／鹿手袋の祭りばやし／
砂の万灯／浦和まつり／氷川女體神社の名越祓え

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027越谷市大房1006-4-410 津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇108 2023.12 B5 148p

《岐阜県郡上市石徹白地区合同調査特集》

石徹白大師堂と大師講—大師堂の造営と大師講の祭祀を中心として 岡田 吉孝

白山信仰の里・岐阜県郡上市石徹白における合同調査の概要

岡田吉孝／西尾嘉美

神の世界に接する村・石徹白

森 隆男

石徹白上在所、神域の生活

一岐阜県郡上市白鳥町石徹白上在所における年中行事

関 廣好

岐阜県・石徹白地区、女の働き―診療所・学校給食

むらき数子

石徹白の衣生活・食生活

神 かほり

石徹白の民家二題 神道と仏教

宮崎勝弘／宮崎玲子

越県合併と雪中の暮らしと地域活性化と一岐阜県郡上市白鳥町石徹白

松尾あずさ

石徹白と廃仏毀釈

佐志原圭子

石徹白の宗教と墓制一岐阜県郡上市白鳥町石徹白の民俗聞き書き

鈴木 秋彦

石徹白のくらし

柴田 久徳

石徹白の農業と水利

谷川 隼也

雨の石徹白

下境 芳典

石徹白のくらし

村山 翠

石徹白の大工と山仕事

西連寺 匠

石徹白の山仕事

菊池 恭平

石徹白の恵みを生かした暮らし

西尾 嘉美

石徹白の民家と漂泊の家一岐阜県郡上郡石徹白

津山 正幹

ニュースから(1)～(13)

創立50年 古々路の会創立五〇周年に寄せて

壮大なマンネリの力

森 隆男

私見「古々路の会」半世紀の歩み

関 廣好

伝承者と参加会員に支えられた五〇年

津山 正幹

第四九回合同調査長野県伊那市富県地区報告

地元幹事・伊東茂男／幹事・津山正幹

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011上尾市平塚976-5 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918

年4000円 1918年創刊 <https://musashinobunka.jp>

◇364 (97-2) 2023.9 A5 79p

表紙 国史跡 鎌倉街道上道(毛呂山町歴史民俗資料館提供ほか)／延

慶の板碑

《特集 鎌倉殿と鎌倉武士》

口絵 『武蔵野事典』出版お礼の会・樋渡達也先生卒寿を祝う会

特集にあたって	加藤 功
源頼朝と武蔵武士	岡田 清一
源頼朝と北条氏	金澤 正大
鎌倉殿と京下り公家	彦由三枝子
南武蔵の豪族御家人一秩父党小山田氏を中心に	石井 清文
武蔵武士の足立遠元	金澤 正大
神奈川県立歴史博物館・特別展「永福寺」を見る	
永福寺と鎌倉御家人	八幡 義信
国指定史跡「鎌倉街道上道」	佐藤 春生
企画展記念講演会 武蔵武士の中世―鎌倉から室町へ―紹介 埼玉県立嵐山史跡の博物館 令和四年度企画展「武蔵武士と源氏―鎌倉殿誕生の時代」、県立文書館 令和四年度企画展「坂東武者の生きざま―埼玉の中世文書」	関口真規子
会 報	
武蔵野文化協会ホームページ図表で語る開設二年	加藤 秀
武蔵国分寺跡史跡指定一〇〇年記念 講演会並びにパネルディスカッション参加記	樋渡 達也
『武蔵野事典』出版お礼の会・樋渡達也先生卒寿を祝う会	
表紙絵「延慶の板碑」解説	
令和三年度書面総会報告／令和四年度書面総会報告	
例会報告(4) 2月例会 梅の香誘う大倉山公園より綱島街道を散策、3月例会 江戸の黄檗文化を巡る、4月例会 大宮宿の散策と地獄極楽をめぐる旅を鑑賞、5月例会 武蔵野の雑木林と時宗板碑を探る、6月例会 小田原北条氏の武蔵侵攻支城小机城跡と小机の今昔散歩、7月例会 令和元年度総会・記念講演会、9月例会 武蔵野の古代ロマン・さきたま風土記の丘をめぐる、10月例会 石神井の自然と歴史を訪ねて、11月例会 千人同心・大久保長安・松姫の旧跡を訪ねて、12月例会 鎌倉比企ヶ谷方面に“中世武家屋敷跡地”を訪ねて牧野富太郎博士のムジナ藻発見記(再録)	

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇257 (通564) 2023.10 A4 12p

歴史探訪部会 10月の活動報告 印西市 木下・大森地区を訪ねる	長谷川秀也
10月例会「印西市木下・大森地区を訪ねる」に参加して	都通憲三朗
古文書解読火曜部会 9月度活動報告	
布施村後藤家文書「川岸場一件扣書」(P16～21)	山本 包介
歴史部会 9月の活動報告 若い頃の我孫子の思い出	逆井 萬吉
古代・中世史部会 10月活動報告 『将門記』を読む(第1回)	
荒井茂男会員・宗岡恒雄会員	宗岡 恒雄
我孫子市史を読む会 10月度活動報告	
井澤弥惣兵衛為永の手賀沼開発への関わり	萩原 正美
古文書解読日曜部会 10月の活動報告	
旧根戸村「文久3年(1863) 御用留」	脇 明子
井上家文書研究会 10月の活動報告	
No1049「寛政6年 新高入 反高見取場御検地墅帳之写 寅10月」、	
No1038「寛政6年 反高見取場御検地墅帳之写 寅10月」	品田 制子
「歴史遺産を巡る一旧柴崎村の奥行一」に参加して	松崎 忠
◇258(通565) 2023.11 A4 20p	
近隣センターこもれび歴史講演会開催	
岡本和男会長「我孫子を通った水戸街道史」	
講演「我孫子を通った水戸街道史」を聞いて	秋谷 岳
アビスタ・ストリート展示 好評のうちに開催される	
古文書解読火曜部会 10月の活動報告	
布施村後藤家文書「川岸場一件扣書」(P22～26)	飯塚 健児
歴史部会 10月の活動報告 山崎章蔵「我孫子市中峠の佐竹街道とは」	
一湖北村誌の記述と伝承を検証する	山崎 章蔵
「我孫子市史を読む会」11月度活動報告	
「享保期の湖沼干拓」—中村勝説への若干の疑問、飯沼新田開発	萩原 正美
古代・中世史部会 11月活動報告	
『将門記』を読む(第2回) 岡本会員・飯白会員	宗岡 恒雄
古文書解読日曜部会 11月の活動報告	
旧根戸村「文久三年 御用留」	中林 孝
井上家文書研究会 11月の活動報告 No838「去虎村小入用改差上帳」、	
寛政7年8月「御廻状写」(今月はp1～p6)	岡本 和男
我孫子の寺社を訪ねる(51) 下ヶ戸 八幡神社	
我孫子市下ヶ戸288(字天神下)	近江 礼子
訃 報	
阪本功さんを偲んで	清水千賀子

追悼 阪本功会員
阪本功様ご逝去の報に接して
追悼 阪本功さん

古内 和巳
田中 康弘
飯白 和子

◆鎌ヶ谷市郷土資料館だより

〒273-0124鎌ヶ谷市中央1-8-31 TEL047-445-1030/
https://www.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/

◇63 2023.6 A4 4p

第27回ミニ展示・7/15～10/1 災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ヶ谷
—教訓を忘れないために—

郷土資料館 令和5年度の事業予定

郷土資料館この一品(21) 墨書土器(ぼくしよどき)

史料整理の現場から(12) 明治30年代の鎌ヶ谷郵便局の帳簿から

◆考古・歴史博物館だより

市立市川考古博物館 〒272-0837千葉県市川市堀之内2-26-1 TEL047-373-2202
市立市川歴史博物館 〒272-0837市川市堀之内2-27-1 TEL047-373-6351
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu14/>

◇66 2023.4 A4 4p

館蔵資料小展示 季節の展示春「よそおいとあそび」

直刀出土古墳を探して

松本 太郎

古写真絵はがきにみる市川市域(8)―市川桃林ノ景

小野 英夫

歴史博物館昔あそび／ゴールデンウィーク機関の昔あそび

◇67 2023.7 A4 4p

歴史博物館 40周年記念企画展「みなさまと歩んだ博物館」

古代下総国の国・郡・里―下総国の範囲13

山路 直充

行徳に落ち延びた北条遺臣たち

山岸 未来

歴史博物館昔あそび／ナイトミュージアムを企画します

◆房総の文化財 千葉県教育財団

〒284-0003四街道市鹿渡809-2 TEL043-422-8811 1992年創刊
<https://www.echiba.org/bunkazai/>

◇62 2023.3 A4 4p

表紙 横芝光町木戸台遺跡出土土器

遺跡紹介 栗山川を望む古墳群―芝山町殿部田古墳群15・19号墳／高

谷川を見下ろす集落―横芝光町木戸台遺跡(6)・(7)地点

木戸台遺跡(6)地点の遺跡見学会 令和4年10月29日(土) 実施
出土遺物公開事業 令和4年度出土遺物公開事業の成果報告 柏北部
東地区の遺跡展―地中からの目覚め

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市根木内6-21 佐藤敬一郎 年5000円 1961年創刊
<http://www.matsudoshidankai.net>

◇63 2023.11 B5 63p

松戸史談会の発展を願って	佐藤敬一郎
徳川將軍御鹿狩りと松籠寺	花輪 茂道
根木内城跡地域をもう一度考える	田嶋 昌治
禪の教え＝児童文学を手がかりに 第四話『椰子の実』	石川 光学
二人の大蔵大臣―金解禁をめぐる	古木 均
会員のひろば 自分小史「宮城県から松戸市へ」	中畑 宏
追悼 前会長・相談役 松田孝史様	佐藤敬一郎

第七回松戸市文化祭 文化講演会概要 文化講演会「東葛飾と戦国の
城」 講師：日本考古学協会会員 間宮正光氏

松戸史談会総会プレゼンテーション(要旨)「松戸史談会で使えるパ
ソコン教室」 担当：古木均

松戸市民参加の講演会(パートナー講座)・要旨「森の住宅都市 常盤
平団地の生活史」 講師：松戸市立博物館学芸員 青木俊也氏

記録・千代田光雄

松戸史談会会員勉強会(要旨)「本土寺の宝物殿見学」

本土寺本堂及び宝物館など 担当：古木均

松戸史談会会員勉強会(要旨)「西と東と 宇克蘭と西比利亜と」

担当：古木均

松戸史談会会員勉強会(要旨) 映画上映会「競輪上人行状記」

担当：古木均

東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒189-0012東村山市萩山町2-6-10-1F ☎042-396-2430 年6000円
2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇29 2023.11 A4 8p

市民アーカイブ多摩 開館9周年記念講演会報告 コモンスペース

- (公共空間)をつくる～市民アーカイブ多摩を軸に～ お話：岡部明
 子さん（東京大学・建築学）
- 第9期緑蔭トーク報告 第2回 こども食堂という“希望”一食・居
 場所から地域づくりへ 六鹿篤美さん（全国こども食堂支援センタ
 ー・むすびえ） （記・六鹿）
- 市民アーカイブ多摩の四季(15) 晩秋 真弓 邑田 仁
 ミニコミ紹介
- 『ハムケ通信』 ハムケ・共に 2010年創刊 猪俣 京子
 『厚木基地を考える会ニュース』 厚木基地を考える会 1988年創刊
 矢野 亮
- 記憶と記録の場をめぐる旅(17) NPO法人猪飼野セッパラム文庫
 ー「みんなのまちの人権図書館」を目指して 町村 敬志
- リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(5)
 市民活動との再会、そして私の思い出 吉田 明

◆板橋史談 板橋史談会

- 〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178 年4000円
 1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>
- ◇318 2023.11 B5 39p
 表紙写真解説 志村みの早生大根 写真と文・井上富夫
 板橋史談会行事予定（令和5年12月～令和6年3月）
- 板橋区の文化財(3) 赤塚・松月院の柊(ヒイラギ) 松崎 憲三
 千葉玄参(自秀)私考(1) 井上 富夫
 千の風になってーときわの杜編(1) 松浦 勉
 上板橋・小茂根周辺の郷土の原風景 石田 太郎
 地域図書紹介 山下徹著『タローの飛行雲ー成増陸軍飛行場記ー』、
 松浦勉著『区制つれづれの記』 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

- 〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 年5000円 <http://okumusasi.travel.coocan.jp>
- ◇454 2023.11 B5 21p
 表紙 「奥武蔵スケッチ第1集」絵葉書
 大蔵山集落&五常ノ滝(昭和48年頃)
- 昭和は遠くなりけり 小泉 重光
 飯能アルプスにおける誤った山名ー久須美坂～天覧山 小泉 重光
 変わった三角点の話(下)ー印象に残る三角点 町田 尚夫

羽衣をまとった天女のような馬頭尊
山行報告

吉田美知子

天覧山から大黒山
8月集會山行「不動三滝読図山行」
景信山から高尾山
寺坂棚田
逗子 鷹取山
金勝山から官ノ倉山
東吾野・地域を歩こう
ヘバラ谷を囲む山稜を巡る

小泉 重光
吉田美知子
大川 満代
河野 尚久
岡野 守
高橋 澄夫
河野 尚久
山野 曠一

◆北区史を考える会会報

〒114-0023 北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇149 2023.11 B5 8p

第473回 月例研究会 関東大震災で倒壊した東京毛織王子工場 有馬 純雄

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012 新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇232 2023.12 A4 8p

催事スケッチ 大分県豊後高田市 天念寺 修正鬼会

燃えさかる松明を手に暴れる鬼たち

写真と文・久保田裕道

儀礼文化を語る

儀礼文化講座(令和5年度第4回) 暮らしの民俗「水と火をめぐる

祈り・まつり」 多摩美術大学非常勤講師 澤井真代

儀礼文化講座(令和5年度第5回) 神道「やまごころ『朝日に

にほふ山桜花』」 國學院大學教授 西岡和彦

明治神宮華道五流献華会 「池坊」献華式

栗田恵津子

ブータン王国にヤクチャムを訪ねて

一標高三五〇〇メートルのメラ村の祭り

文と写真・久保田裕道

儀礼文化研究会報告

島根県浜田地域における石見神楽社中による神社祭典の奏楽と神楽

奏楽の関係性

安西 生世

千葉県鴨川弁天島に関わる信仰伝承

宇田 哲雄

レポート

儀礼文化セミナー(令和5年度第3回) 古典遊戯「投扇興」

講師・其扇流・東都浅草投扇興保存振興会

松下 秀也

儀礼文化セミナー(令和5年度第4回) 民俗芸能「三匹獅子舞探訪」

講師・久保田裕道

町田 薫

ミュージアム探訪 国立科学博物館(東京都台東区) 「和食—日本の

自然、人々の」

栗田恵津子

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊

◇12 2023.10 A5 234p

《倉石忠彦先生追悼号》

「遊び」と「子ども」・再考

倉石 忠彦

倉石民俗学の特質

谷口 貢

後世、最大の遺物一付、万葉集注釈稿

上野 誠

民俗学者倉石忠彦 その折り目正しい荒ぶり

母袋 俊也

「三〇年後の位牌分け」が問いかけた問題

中込 睦子

都市・「渋谷」への照射

高久 舞

イエと弔い

倉石 美都

追悼文

倉石先生のこと

三村 正悟

倉石忠彦氏を偲ぶ

田中 宣一

写真で追憶する倉石忠彦さん

福田アジオ

倉石忠彦さんとの晩年の交遊

篠原 徹

開拓精神旺盛な倉石先生

松崎 憲三

倉石忠彦教授 追悼文

李相日／翻訳・倉石美都

忠彦先生へ

内田 忠賢

倉石忠彦先生を偲んで—民俗調査と研究会

牧野 眞一

倉石忠彦先生の思い出

内野 達矢

倉石先生追悼文

内野 清美

朝の散歩—倉石忠彦先生を憶う

神野藤昭夫

いつも、いつまでも一緒に—追悼 倉石忠彦先生

池上 貞子

研究を通して自らの内面と向きあい続けた先生

—倉石忠彦先生の死を悼み

泉 雅博

図解民俗学者 倉石忠彦先生を悼む

島村 恭則

足下から立ち上げる問題意識

—『長野県民俗の会通信』にみる倉石忠彦先生

中野 紀和

仙川会のことなど

亀井 好恵

頭の片隅に、倉石先生の言葉

新井 一樹

全身民俗学者一倉石忠彦先生を偲んで	伊藤 龍平
忠彦先生の訃報に接して	及川 祥平
倉石忠彦先生との思い出	三輪 京子
倉石忠彦先生を偲んで	アクマタリエワ ジャクシルク
人の営みの中で	映像作家 永野浩史
倉石忠彦先生を偲んで	徳永 紗英
倉石忠彦 略歴／倉石忠彦 業績一覧	

◆十條村研究 榎本龍治

〒114-0034北区上十条3-29-21 シェルムアイ303 TEL03-3905-4699

◇8（通30）2023.10 A5 23p

研究報告 上十条村の集落構造に関する基礎的考察	榎本 龍治
調査報告 明治二十一年『下十条村地価帳』について	榎本 龍治
コラム 中十条南橋遺跡土壙群のこと	

◆すみだ史談

〒130-8640墨田区吾妻橋1-23-20 TEL03-5608-6310

<https://sidankai.wixsite.com/sumida/>

◇61 2023.5 A4 4p

在原マサ女史追悼文	小木曾清三
2023年2月27日 国の登録有形文化財になった言問小学校(向島五一40)	
	小木曾清三

調査研究ノート

すみだと映画史一昭和期の区内の映画館	瀧口 雅仁
曳舟川はいつ消えた？	旧水路ラボ
国の有形文化財に登録 区立言問小学校	

◇62 2023.10 A4 4p

関東大震災から一〇〇年

関東大震災における教訓と墨田区の今後の課題	小木曾清三
すみだと関東大震災	五味 和之
旧水路研究ノート 関東大震災 謎の水路を特定せよ	旧水路ラボ
勝海舟生誕200年	小木曾清三

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2023-11 2023.11 A4 6p

令和5年度 寺社めぐり(区内の寺社で関係者から由来・来歴・史跡
などの聴講・見学)

東日本大震災 その日

私は鎌倉で帰宅困難者

薄井 恒雄

私は震災未経験者 上海に出張中

野口 健夫

世田谷の民話(57)

からすが池尻村の百姓家を守る／川井権兵衛(ごんべい)

作者・桜井正信

世田谷の民話(58) 奥沢城のカヤの木物語／九品仏のカヤ(榎) 作者・桜井正信

◇2023-12 2023.12 A4 4p

令和5年度講演会 報告書 大江戸をめざす千石船 講師・柘植信行

氏／幕末のキーマン 西郷と慶喜 講師・伊藤寿氏／徳川家康の江

戸都市計画 講師・谷口榮氏／古代から中世へ 郡の再編成 講

師・谷口榮氏／江戸幕府崩壊と徳川御三家 講師・伊藤寿氏／古代

から中世へ その2 講師・谷口榮氏

世田谷の民話(59) 等々力村の天狗騒動

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

世田谷の民話(60) 下祖師谷の五香屋の翁のたわごと／江戸時代の漢

方薬

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

◆世田谷区立郷土資料館だより

〒154-0017世田谷区世田谷1-29-18 TEL03-3429-4237 1983年創刊

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/012/011/002/d00138265.html>

◇77 2023.7 B5 16p

世田谷区立郷土資料館の再開館を迎えて

桐山 孝義

館内案内図

最終氷期に生きたせたがやの人々 後期旧石器時代

約38,000～16,000年前

前田 知寿

土器の登場とムラのくらし 縄文時代 約16,000～2,500年前

村上 舞

稲作の開始・ムラからクニへ 弥生時代 約2,500～1,750年前

前田 知寿

首長の台頭と大型墓の造営 古墳時代 西暦250年～700年頃

箕浦 絢

武蔵国のなかのせたがや 古代 奈良・平安時代 710年～1185年

鈴木 泉

有力武家の出現と領地支配の様子 中世 鎌倉～安土桃山時代

1200年代前半～1590年

鈴木 泉

世田谷代官大場家の歴史 中世～近世

角和 裕子

江戸近郊農村の姿 近世 1590年～1867年

角和 裕子

村から町へ 近代 幕末～昭和 1853年～1945年 角和裕子／小林信夫／上原智

うつり変わるくらし 現代 1945年～

松浦瑛士／松本知佳

受け継がれる形 民俗

松浦 瑛士

世田谷の文芸 美術

角和裕子／鈴木泉

リニューアル記念展示第1弾 重要文化財保存処理完了記念 野毛大

塚古墳展／予告：リニューアル記念展示第2弾 特別展 館蔵品で

みる宗教美術の造かたち形—仏教美術を中心に

◆せたがやの文化財 世田谷区教育委員会生涯学習課文化財係

〒154-0016世田谷区弦巻3-16-8 TEL03-3429-4264 1989年創刊

<http://www.city.setagaya.lg.jp>

◇35 2023.3 A4 8p

下馬五丁目庚申公園が開園しました

文化財の保存 区指定有形文化財 安藤家住宅内倉の漆喰壁修理／区

登録有形文化財 旧清水家住宅書院の整理

文化財事業報告

都指定史跡 等々力溪谷三号横穴の扉が綺麗になりました 昭和50

年2月6日指定／国指定重要文化財 野毛大塚古墳出土品の保存修

理が完了しました

世田谷区文化財解説ボランティア／光る匠のわざ体験～古いたても

のの技術を使って泥だんごを作ろう／ドキ土器！ 粘土で作るむ

かしの器／香道入門教室～菊合わせ香／第15回世田谷区遺跡調

査・研究発表会／せたがや歴史文化物語 国分寺崖線沿いのみど

りと近代建築を巡る

小学校での郷土学習 郷土歴史文化特別授業、「世田谷の郷土学習」

出張授業／郷土資料館事業 野外歴史教室 吉良氏ゆかりの地め

ぐり～駒沢公園通り沿いの旧蹟／民家園事業 次大夫堀公園民家

園・企画展 農村と草花、次大夫堀公園民家園・民家の伝統技術

茅葺きの技術

世田谷デジタルミュージアム／世田谷区内文化財紹介動画

◆戦国史研究 戦国史研究会（発売：吉川弘文館）

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇86 2023.9 A5 58p 682円

今川領国三河における占領地支配—奥平氏による山中郷支配を事例に

山崎 裕太

武田信玄の小田原城攻め—その行程について

村田 精悦

河内守護代遊佐順盛の没年	畑 和良
徳川家康の誕生年について	遠藤 珠紀
安宅神太郎の自立と周辺権力	嶋中 佳輝
洲本入城前の千石秀久の居城	中平 景介
戦国史関係論文目録(令和4年7月～12月)	
例会報告要旨	
第505回例会 八条流馬術の地域的展開	長塚 孝
第506回例会 天文元年「反大内家同盟」をめぐる諸問題 一年欠7年20日付の大内・大友氏対立に関する一史料	磯川いづみ
第507回例会 武田信虎と二人の母	長谷川幸一
第508回例会 永禄期、今川氏関係文書の再検証	大石 泰史
第509回例会	
多賀谷政経・重経の政治的動向一発給文書の検討を中心に	石塚 達也
第510回例会 豊臣政権の四国出兵一羽柴秀吉の不出馬と羽柴秀長	鎌田 直樹
総会報告 2月24日付書面	

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<https://daidougei.seesaa.net>

◇384 2023.11 A4 2p 100円

明治二十五年頃 京都の行商人 甘酒売屋台／ランプ売屋台／虫売り／酒屋／飴売り／錦魚や(金魚売り)／氷売り／豆腐屋／小原女／燈芯売り／油売り／魚売り／かれや／黒海苔売り／陶器屋／簞売り／西瓜や／大根売り／花売り／取替屋／糊屋／葉売り／辻占

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

FAX042-563-2896 <http://tamatikken.web.fc2.com>

◇157 2023.12 B5 16p

第116回例会報告 日記が語る戦時中のくらし一大和村のはな子さん 梶原喜世子
新刊紹介 鈴木浩三著『地形で見る江戸・東京発展史』(ちくま新書)

梶原 勝

地域史情報室 多摩湖(村山貯水池)の中堤防(上貯水池堰堤)が変わります

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇192 2023.11 A5 96p

《特集 多摩と地震》

考古学からみた武蔵国の地震	宮原 正樹
中世武蔵国における地震と年代記	片桐 昭彦
近世多摩の地震	矢田 俊文
多摩地域と関東大震災	
武蔵野村と関東大震災	高野 弘之
南多摩郡と稲城の被災と復興について	檜野 泰巳
関東大震災と西多摩郡	田端 和菜
いま、首都直下地震に備える	渡辺 実
洋風建築への誘い(81) 玉川上水の流れ・橋・建物 その6	伊藤 龍也
建物雑想記(76) 国分寺崖線の近代和風建築 大森邸②	酒井 哲
古文書は語る(67) 江戸時代前期武蔵野新田の年貢上納の実態	
一上連雀井口家文書「年貢納払勘定書」より	馬場 憲一
多摩の歴史を立体視！一赤色立体地図の風景(19)	
中央線多摩川鉄橋と砂利線	小坂 克信
本の紹介	
田無神社編『御遷座三五〇年大祭記念誌 写真と資料から見る田無神社』	近辻 喜一
大野弘子著『銀杏並木の町から』	新井 勝紘

◆たまのよこやま 東京都埋蔵文化財センター報

〒206-0033多摩市落合1-14-2 TEL042-373-5296 1984年創刊

<https://www.tef.or.jp/maibun/>

◇133 2023.6 A4 8p

調査員の研究ノート こんな研究しています(1) 古墳時代終末期	
という時代／あきる野市瀬戸岡古墳群と馬飼集団／町田市西谷戸横	
穴墓群と装飾付大刀	松崎 元樹
遺跡だより(136) 世田谷区 下野毛遺跡	堀 恭介
都埋文の機器分析(1) C T スキャン(1) 土鈴の中を覗く	長佐古真也
令和5年度企画展示「多摩新街遺跡切抜帖」開催中！	

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須絃一方 FAX048-479-7490 年2000円 <https://tias3.web.fc2.com>

◇163 2023.11 A4 4p

物流博物館において特別展が開催中 鉄道貨物輸送150周年記念「汐留駅にみる貨物鉄道と通運のあゆみ」

講演要旨 産業遺産でめぐる川崎の鉄道史

東京産業遺産学会講演会 於・物流博物館 中川 洋
新刊紹介 日本工業博物館史の研究 馬淵浩一著 文・権上かおる
茨城県笠間市の赤煉瓦建築物(1) 「小泉アーチ橋」 文・写真 八木司郎

◆花時計 文京ふるさと歴史館友の会だより増刊号

〒113-0033文京区本郷4-9-29 文京ふるさと歴史館内 TEL03-3818-7221
年1500円 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇31 2023.6 A4 2p

一葉あれこれ 中嶋 正文
幼少期の弓町・本郷元町 舟山 憲一

◆文京ふるさと歴史館だより

〒113-0033文京区本郷4-9-29 TEL03-3818-7221
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇30 2023.6 A4 8p

寺子屋、藩校、昌平黉一学び舎の歴史、江戸から東京へ 加藤 元信
収蔵庫と天気 齊藤 智美
卒業写真に写る人たち 明治44年(1911)の誠之小学校の卒業写真 加藤 芳典
令和4年度のあゆみ 小・中学生のための歴史教室／特別展／収蔵品
展／文の京ゆかりの文化人顕彰事業／ミニ企画／史跡めぐり／ワー
クショップ／森鷗外没後100年記念シンポジウム

◆ばいす 北区飛鳥山博物館だより

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133
<https://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>

◇50 2023.3 A4 8p

おかげさまで50号
春期企画展「I ♥ スーパー…スーパーマーケットのチラシにみる昭和」

「ただいま準備中！スポット展示」 (谷口)
大地・水・人 偶感 石倉 孝佑
イベントレポート

秋季企画展「縄文料理と弥生ごはん」 (鈴木)
講座「国史跡指定100周年 一里塚をめぐる」(2022年10月29日開催) (田中)
モノの記憶—収蔵品が語る物語— 善定の生まれた時の覚帳 (工藤)
写真に見るあの日・あの時 日本映画のゴールデンエイジ！ (佐々木)
いにしえからの贈り物 古代のムラから見つかった和同開珎 (高坂)
VOICE 開館25周年を迎えて (安武)
北区の文化財紹介 歴史をつなぐ人たちの
高木助一郎日記 (北区指定有形文化財(古文書)) (山口)
博物館インフォメーション おかげさまで25周年！／博物館にカブセ
ルトイ登場！／北区飛鳥山博物館公式SNSのご案内
学芸員リレーエッセイ 博物館いろは歌留多
白雪の降りたるものかは蜃の殻 (牛山)

◆港区立郷土歴史館だより

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 TEL03-6450-2107 2019年創刊
<https://www.minato-rekishi.com>

◇16 2023.6 A4 2p

関東大震災と公衆衛生院 川上 悠介
東禅寺事件メダルの授与から見る日英関係 岡谷 成康

◆港区立郷土歴史館ニュース

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 TEL03-6450-2107 2019年創刊
<https://www.minato-rekishi.com>

◇16 2023.6 A4 4p

夏休み企画展 「港区たてものウォッチング～お寺や洋館をたずねて
みよう～」／歴史館5周年 Anniversary 企画 歴史館SNSフォト
コンテスト＃とおきの歴史館2023
企画展関連プログラム

◆炉辺閑話 杉並区立郷土博物館だより

〒168-0061杉並区大宮1-20-8 TEL03-3317-0841 1989年創刊
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

◇68 2023.3 A4 8p

「淡島雅吉のアトリエ ガラスの「かたち」を求めて」

資料の周辺(45) 竜吐水(りゅうとすい)

馬場 悦子

古文書こぼればなし(64) 高井戸にいた近藤登助

茶園 紘己

杉並の遺跡(61) 和田中学校遺跡 所在地：和田二丁目

高田 大幹

杉並文学散歩(68) 瀬戸内寂聴 小説家・僧侶

本橋 宏己

令和4年1月～12月新規収蔵資料目録 新規購入資料目録／寄贈資料
目録

金子さおり

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇29 2023.11 A4 4p

現在の私たちの暮らしを映す鏡『厚木市史 古代通史編』

宮瀧 交二

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇110 2023.11 A4 2p

NL109号の「地域婦人会とボランティア」について話し合ったこと 高階志津江
シリーズ：私たちの「戦争体験」(35)

第11話「撫順での生活3」

阿部 光世

これからの図書館への意見を聞きたい会議に参加

(横松)

◇111 2023.12 A4 2p

鎌倉婦人の底力

山根 信子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(36)

第12話「引揚げが始まる」

阿部 光世

「人づくり」から「ひとなる」へー飯田市地域史研究集会参加報告

(多和田)

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇48 2023.11 A4 12p

横浜の洋装店と人びと 大平哲生とビジネス洋装店

上田 由美

渡辺歌郎が見聞きした一九四五年度の鶴見

百瀬 敏夫

戦争体験を引き継ぐ

羽田 博昭

所蔵資料紹介 「FASHION in the 1946-1954」

上田 由美

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内（事務局：西村健）

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇99 2023.11 B5 4p

研究例会 第127回例会 白井拓朗「横浜開港期の諸外国在外公館の
設置についてー開港地をめぐる対立から」（仮）・上西晴也「明治初
年の下総開墾と牧場」／次回の研究例会 第128回例会（予定）池田
真歩『首都の議会ー近代移行期東京の政治秩序と都市改造』書評会
情報ネットワーク 展示会情報！

会員インフォメーション 藤沢市文書館 文書館収蔵資料展「ムラの
祈りー民俗学者・丸山久子が記録した遠藤の歳事」

松本 洋幸

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円 <http://mingu-gakkai.com>

◇165 2022.10 B5 76p

三方五湖の漁業ーその多様性を漁具の形態と機能から読み解く 樋口 潤一
「17～18世紀の民俗ネネサンス」説の提起

一人形道祖神の成立年と太閤検地の再評価

河野 通明

S N Sによる民具研究の可能性

広実 敏彦

研究会報告

第160回 日本民具学会研究会「オンライン展示解説会 新しい石
ー巻市博物館の常設展示」オンライン研究会（サロン方式）

香月 節子

第161回 日本民具学会研究会（共催四国民具研究会）「運搬具の比
較民具学」オンライン（Zoom）開催

織野 英史

書籍紹介 高妻洋成・小谷竜介・建石徹編著『入門 大災害時代の文
化財防災』

後藤 知美

展示批評 企画展「まつりの花、いのちの木ーデザインと道具」

高知県立歴史民俗資料館

福島 千尋

展示紹介 企画展「仙台の祭りと年中行事」仙台市歴史民俗資料館

佐藤 雅也

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇667 (56-8) 2023.11 A5 24p 350円

牛乳受箱小考一大正初期	松本 友里
アチック・ミュージアムの民具コレクション(44) ヘラ(1)	小島 摩文
書籍紹介 竹内早希子著『巨大おけを絶やすな! 日本の食文化を未来へつなぐ』	黒木 祐香
マンスリー揭示板 三原市歴史民俗資料館 企画展「商い! 飽きない! 空さない! 商いの道具」/氷見市立博物館 特別展「うらぐわし布勢水海—十二町潟の考古と民俗」	

◇669 (56-9) 2023.12 A5 24p 350円

山岳宗教集落戸隠中社の竹細工と箕織り—社会構造と生業、その技術	榎 美香
仙台竿の伝承・変遷—「竿政」による革新	手塚 一佳
民具短信 100年後の民具資料館に展示されている民具	下境 芳典

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒230-0062横浜市鶴見区豊岡24-6 熊本修一方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇85 2023.11 B5 74p

令和5年度上期を終えて	熊本 修一
特集テーマ「横浜の偉人」	
日本戦後復興の水先案内人 吉田茂	青柳 敏行
氷の起業家 中川嘉兵衛	楨 良生
浅野総一郎—京浜工業地帯の父	長田 格
原三溪と関東大震災からの横浜復興	木村 高久
不合理な解釈ではいけないか 最澄の躊躇	松尾 光
鎌倉尼五山第一位 太平寺滅亡の謎	加藤 導男
鎌倉幕府滅亡から観応の擾乱まで	真野 信治
大迫皇女—夏見廃寺(1)	遠田千代吉
岡津陣屋 彦坂小刑部元正の履歴書	西澤 昭
契り	青柳 敏行
令和5年度 バスツアー「新緑の甲州路に武田三代ゆかりの地を訪ねる旅」	雨宮美千代
春の歴史散歩	
金沢文庫・称名寺から旧伊藤博文金沢別邸、金沢東照宮跡地へ	金子ユカリ
古歌を訪ねて・その十六—夢に生き夢にかけた王朝の女流歌人	丹下 重明

眠りのメカニズムと中高年の眠りの悩みを解決するために	長谷川憲司
100gのレモンから110gのジュースを(根室雑感)	槇 良生
サビエンスの欠陥病… 色葉匂へど(9)(ゲンさんの歴史幻想)	宮下 元
「洛西散策」我が庵周辺を楽しむ② 北 仁和寺の御室桜	高橋 正一
私の「一品香」—ある中華料理店の歴史	田代信太郎
「横浜と有名人」	瀬谷俊二郎
班長の抱負(2) どうぞよろしく申し上げます	
丸山雅子／遠田千代吉／真野信治／橋本誠／武中正文	
追悼の辞 永井幸雄さんを偲んで	木村 高久
研究発表の概要(令和5年4月～9月)	雨宮美千代
会員活動報告 令和5年6月～9月	(編・記)

新潟県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇430 2023.10 A5 50p

五十公野古四王神社と菅江真澄

高山 秀一

「鎧潟民俗緊急調査集録」を読む

佐藤 和彦

十二社・神社の十二について

金田 文男

百和堂(片桐民治)と小林存一「小林存訪問録」より、昭和二十三年八

月・九月・十月の記録

岩野 笙子

書評 近藤忠造著『新潟県民俗芸能見聞記』

ユネスコ「無形文化遺産」登録記念

坂井 美香

令和五年度春の談話会報告記録映像「芦沼」について

金田 文男

表紙写真 岩船大祭

金田 文男

訃報 高橋實さん

富山県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇202 2023.11 A5 90p 1300円

承久の乱後の礪波郡石黒下郷石黒氏の転変

久保 尚文

越中禅宗寺院の善光寺信仰	松山 充宏
近代初期、富山売薬の苦難と克服の履歴—富山売薬の知恵と工夫(下)	
面作者 日見(氷見)宗忠考	米原 寛
研究余滴 ある新田才許の辞令(被仰渡書)について	胡桃 正則
令和五年度研究発表大会発表要旨	浦田 正吉
富山県域における先史編織技術革新	
—縄文時代の「編む」から弥生時代の「織る」へ	松永 篤知
信長勢の越中入国と退去—太田保の状況	久保 尚文
加賀藩出身者の他国稼ごと地域社会	岩田 裕斗
富山県庁舎新築問題をめぐる政治状況—一九三〇三月～一二月	吉原 徹平
書評 萩原大輔著『中近世移行期 越中政治史研究』	中村 只吾
最近の地方史情報	

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇71 2023.12 A4 8p

富山市の石分銅

平井 一雄

井波石工 七次郎

尾田 武雄

金沢市の一石六地藏

滝本やすし

第65回例会報告 金沢市の不動明王めぐり

清水 邦彦

長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇127 2023.12 A4 8p

《設立20周年特別号》

設立20周年特別号

飯田市歴史研究所

歴研のお仕事

その1 調査研究事業 史料調査研究の巻／オーラルヒストリー調査の巻／建築史調査研究の巻

その2 教育普及事業 地域史研究集会／飯田アカデミア／地域史講座／歴研ゼミナール・ワークショップ／出前講座／職場実習の

受け入れ／市社会教育機関との連携
その3 市誌編さん事業 歴史研究所の書籍
歴史研究所のあゆみ 2002年～2023年

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇802 (67-11) 2023.11 A5 40p 600円

「高遠領産物帳」を読む

ワサビ田復活のススメー荒廃ワサビ田の活用で伝統文化の継承を
那須与一と那須三郎についての一考察(2)

五龍大神祭典記

「浦」の今昔

文化短信 移動した道標

図説・上伊那の民俗(75) 梅戸神社獅子舞(飯島町飯島)

徒然さんば(52) 信州大学ユリノキ並木 南箕輪村

◇803 (67-12) 2023.12 A5 40p 600円

高遠藩 幕末・維新期の藩政―「諸士録」(仮称)から

伊那谷の美しい景観と農業の機能―農業と環境保全の両立

伊那谷のヒタキ類―民俗の窓を通して(47)

古文書の窓(174) 名前の近代化

図説・上伊那の民俗(76) 元宮神社獅子舞(宮田村北割)

徒然さんば(53) 御謝山三社御旅所 箕輪町

『伊那路』第67巻総目次 令和5(2023)年

小池 悟志

佐々木育夫

片桐 充昭

伊藤 修

小松 武幸

吉田 保晴

三石 稔

絵と文・吉田勝美

春日賢太郎生

宮下 清貴

吉田 保晴

小池 悟志

三石 稔

絵と文・吉田勝美

◆真田宝物館だより 六連銭

〒381-1231長野市松代町4-1 TEL026-278-2801

<http://www.sanadahomotsukan.com>

◇49 2023.8 A4 4p

令和5年度真田宝物館特別展「真田家と宇和島藩伊達家」

真田家伝来の大名道具―知れば知るほどおもしろい

活動報告 真田宝物館であそぼ! 2023

次回企画展「山寺家資料展」／学芸レポート①「資料撮影」 学芸レポ
ート②「博物館実習」

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇886 (75-11) 2023.11 A5 92p 1150円

《特集 現代史・新しい県史編纂にむけて》

戦後、教育・歴史観の転換に果たした考古学の意義

三上 徹也

長野県民と戦争責任論

桂木 恵

大本営移転に伴う終戦間際の長野の軍事状況

土屋 光男

新しい県史への期待や要望

長野県の現代を記す信州地理研究会による地誌研究

畔上不二男

報告 長野県公文書審議会傍聴記

後藤 芳孝

◇887 (75-12) 2023.12 A5 96p 1150円

《地域特集「東筑摩郡・松本」》

松本市内小学校におけるスペインインフルエンザの流行状況

遠藤 正教

明治初期、東筑摩郡桐村陸軍省兵営用地の成立

—信州大学松本キャンパスの起源をたどる

福島 正樹

松本市文書館蔵「小里家文書」に見る清末中国関係者関係文書

—小里頼永宛川島浪速書簡を中心に

木曾 寿紀

回顧と展望 地域史研究のすすめ雑感—松本地域を事例にして
地域動向

田中 薫

松本市の文化財行政について

—文化財を活用した地域づくりに向けた取組みから

竹原 学

松本史談会の活動について

窪田 雅之

『信濃』第75巻総目次 自第75巻第1号至第12号

◆信州の遺跡 長野県の埋蔵文化財情報誌

長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007長野市篠ノ井布施高田963-4 TEL026-293-5926

<https://naganomaibun.or.jp>

◇21 2023.8 A4 8p

最新発掘調査情報 37年ぶりの再会 松本市 南栗遺跡

河西 克造

南信州の埋蔵文化財最新情報

朝鮮半島で作られた「百濟土器」を発見! 飯田市 川原遺跡

春日 皓介

「直弧文」が描かれた高坏 飯田市 五郎田遺跡

遠藤恵実子

見えてきた正倉院 飯田市 史跡恒川官衙遺跡

羽生 俊郎

信州の近代遺跡—伊那に眠る巨大な戦争遺跡「陸軍伊那飛行場」

写真:伊那市教育委員会提供「練習機赤とんぼ」

濱 慎一

埋文本棚

海戸塾編『考古地域学を学ぶ―戸沢充則の考古学』	杉本 有紗
藤井一至著『大地の五億年』	水科 汐華
特集 自治体を越えた文化財活用事業の紹介 日本遺産「星降る中部 高地の縄文世界」と中央日本四県連携「山の洲文化財交流展」	賛田 明
考古学の窓 矢田部良吉	平林 彰

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0834長野市問御所町1257-1 TEL070-4026-1252 年4000円 1964年創刊

<https://naganokyodoshi.wixsite.com/my-site/>

◇323 2023.12 A5 97p 1200円

表紙 願法寺(飯綱町)の日野瑞顕副住職による絵解き「枕石山願法寺
略縁起絵伝」／口絵 引き継がれる信濃路の絵解き／奉納された水
内大社の御柱祭行列図大絵馬

高野辰之と関東大震災	小林 一郎
国学者高瀬雅彦の「長野日記」―明治二三年の長野・戸隠 赤倉に温泉宿を開いた柴津村の斧右衛門	矢羽 勝幸
一斧右衛門から仁太夫へ、一身二生を生きた男	中村 敦子
村上義清、越後を頼る	志村 平治
終戦の年、秋に勃発した「川中島機雷爆発」について	土屋 光男
山寄儀作が最晩年に製作した健御名方富命彦神別神社の額	草間 律
奉納された水内大社の御柱祭行列図大絵馬	小林 玲子
30年後、引き継がれた信濃路の絵解き	小林 玲子
コロナで落ち着き、各地で行った絵解き	
一専修寺(三重県)・元善光寺(飯田市)・長性院(大町市)	小林 玲子
連載コラム 読んで長野(10) 小山真夫『小県郡民謡集』	栢木 希望

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇298 2023.11 B5 8p

「道祖神」「道祖神伝承」の概念(1)	倉石 忠彦
古文書に見る富士見の育児に関する公助	下平 武
「六道地藏尊仏迎え」の現在	三石 稔
葉書でつばやくコーナー 「あの子」はどの子? 一透析室春秋(4)	倉石 忠彦
第236回例会報告 長野市立博物館	(巻山記)

静岡県

◆遠州常民文化 遠州常民文化談話会会報

〒437-0211周智郡森町城下618-1 山内薫明方 年2000円

◇264 2022.6 A4 18p

現代社会の憂鬱

名倉愼一郎

ムラと婦人—生活改良普及員の活動をふりかえって

2 夢未来くんま水車の里

今村 純子

「常民」の農業用水14 上江用水(新潟県上越市)

中山 正典

敷地の祭り 南部

伊藤久仁俊

佐久間・奥領家白山神社と八百万の神(1)・続

清水三枝子

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室

年4000円 1979年創刊 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇48 2023.10 A4 80p 1000円

総会記念講演録 水平社百年「近代社会における部落問題」再考 黒川みどり

「国土防衛必勝兵器」の開発に研究動員された学徒高橋廣夫氏の日記

の二論点と現代的意義(上)

矢田 勝

金原明善研究の課題と展望

伴野 文亮

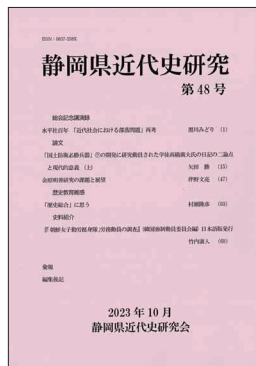
歴史教育雑感 「歴史総合」に思う

村瀬 隆彦

史料紹介 『朝鮮女子勤労挺身隊』労働動員の調査』(韓国強請動員

委員会編) 日本語版発行

竹内 康人



* 竹内康人「史料紹介 『朝鮮女子勤労挺身隊』労働動員の調査』(韓国強制動員委員会編) 日本語版発行」は、2008年に韓国の日帝強占期強制動員被害真相糾

明委員会から刊行された同書の日本語版が、2022年に日帝強制動員被害者支援財団によって出版されたことに基づき、調査の成果と今後の課題を整理したのである。この中には、静岡県の東京麻布紡績沼津工場の動員状況もまとめられている。

これにより、労働実態と被害事例が把握され、動員対象地域や動員方法が明らかになった。動員には、形式上は「志願」で、実際には「応募」を強制したことや、家族に対する脅迫、圧力もあった。さらに全体像を明確にするには、動員地を広げて確認することや、この調査では活用が限定されている日本政府、朝鮮総督府の政策文書の調査と、「慰安婦」として動員された事例があることなどの研究を進化させる必要性を課題として上げている。

併せて、2008年に刊行された口述記録集『朝鮮女子勤労挺身隊 その経験と記憶』も紹介し、東京麻布紡績沼津工場で働いた4人の生々しい証言を取り上げている。この部分も翻訳が終わっており、出版をめざしているとのことである。

ほかにも、関連した参考文献が列举されている。大変に貴重な記録である。

『「朝鮮女子勤労挺身隊」労務動員の調査』（日本語版）などの入手は、次に連絡して欲しいとのことである。paco.yat@poem.ocn.ne.jp 竹内氏宛。

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇542 2023.11 A4 6p

11月例会レジュメ

六全協後における共産党の地方組織—静岡県東部を事例として	塚原浩太郎
2023年度静岡県近代史研究会総会報告	橋本 誠一
宿 題	羽間 昭夫
ご案内 『戦争に反対する 塚本清一遺稿集』	竹内 康人

◇543 2023.12 A4 6p

12月例会レジュメ

ラウンドテーブル『静岡県近代史研究』第48号合評会
原口清先生記念研究奨励制度授賞作品と授賞理由 受賞作品1 伊故海貴則『明治維新と〈公儀〉—議會・多数決・一致—』／受賞作品2 岡村龍男「清水港関係史料の所在と保存活用—『清水市史』編さんと“新発見”の袖師澤野家文書を中心に—」『清水港の歴史から見る日本とアジア—地方史研究の成果と課題—』 静岡県近代史研究会幹事会
幕末の駿河国における種痘 樋口 雄彦

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇13 2023.9 A5 120p

創立40周年記念シンポジウム記録「今川氏研究の現在」

基調報告論文

今川氏研究の成果と課題

大石 泰史

今川氏検地の再検討—検地の実施状況と施行原則を中心に

鈴木 将典

今川氏の天文の三河侵攻・再考

糟谷 幸裕

討論記録 2022年9月23日 静岡市歴史博物館 コメンテーター 黒田基樹／

コーディネーター 大石泰史／パネラー 鈴木将典・粕谷幸裕

総会記録 第41回総会 創立四十周年記念シンポジウム「今川氏研究の現在」／例会記録

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇251 2023.11 B5 4p

第42回総会報告 総会／記念講演「浜松城下町にみる都市空間の形成と変化—東海道の城下町を地図から考える—」 講師・京都大学教授 山村亜希氏

「百年このかたのことは間近きこと」—晩年の今川氏真

小林輝久彦

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇189 2023.12 A4 4p

令和5年度 第1回例会のご案内 磐田市敷地地区見学会と遠州常民談話会発行『敷地の民俗』報告会

民俗誌にみる静岡県内のトチの実利用

方言短信 シャギル／ケケトク

報告者・松田香代子

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇165 2023.11 B5 12p

第135回研究会 大畑、中村両氏発表 「十辺舎一九の父親の名前は重田幾八でした」と題する、大畑緑郎氏の発表内容／「駿府町奉行組「同心」雑攷—新史料「安政同心名簿」を加えて—」と題する中村典夫氏の研究発表

第135回研究会 井口、望月両氏発表 「空から国内に発した根岸錦蔵の功績」と題する、井口義久氏の研究発表内容／「海を渡った倭城と朝鮮出兵—どんな出兵で、何をもたらしたか?—」と題する、望月茂氏の研究発表の内容

◆浜松市博物館だより

〒432-8018浜松市中区蛸塚4-22-1 TEL053-456-2208 1982年創刊
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>

◇151 (41-3) 2023.3 A4 4p

テーマ展「家康伝承と浜松」vol.2 描かれた三方ヶ原の戦い／徳川家康にまつわる伝承／観光地化する伝承地
期間限定展示「武田信玄書状」／春休み体験館 縄文風編みかごづくり、古代のアクセサリづくり

◆ふじのくに考古通信 静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203静岡市清水区蒲原5300-5 TEL054-385-5506 2011年創刊
<https://www.smaibun.jp>

◇25 2023.6 A4 8p

表紙 富士市船津1古墳群
発掘調査速報

山口遺跡 松崎町岩科南側

岩名建太郎

西浦足保林石丁場遺跡、久科仲洞丁場遺跡

沼津市西浦足保、西浦久科

木崎 道昭

富士市船津1古墳群 富士市江尾

岩本 貴

大門Ⅲ遺跡 袋井市高尾

蔵本 俊明

試掘・確認調査 沼津市東熊堂・東佐沢田

富樫 孝志

特集 センター館内の多言語化と「やさしい日本語」の取組み

中川 律子

愛 知 県

◆愛知県公文書館だより

〒460-0001名古屋市中区三の丸2-3-2 愛知県自治センター内 TEL052-954-6025
<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/>

◇27 2023.2 A4 8p

令和四年度企画展「県政一五〇周年記念愛知県のはじまりと県庁のあゆみ」

ミニ展示より一杉原千畝の愛知県立第五中学校時代
県史収集資料の紹介―早川家文書(早川龍介)
県史収集資料及び県史収集写真の画像閲覧について／徳川林政史研究
所所蔵史料の閲覧及び複写申請について／『愛知県史』等の販売に
ついて
資料紹介―県政一〇〇年記念事業／インターンシップ研修生体験記
レファレンスコーナー Q. 県内の公園に関する資料には、どのよう
なものがありますか。

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

◇280 2023.10 A5 53p

明治改暦一五〇年一暦からカレンダーへ

中牧 弘允

剣の宝庫 草薙館周辺の林苑整備の考え方(2)

原野 幹義

当神宮境内の井戸について―祭礼神饌を調えた施設「供御所」との関

係を中心に

細谷 公大

熱田神宮御礼遇に関する一考察(5)

飛岡 秀樹

第一三回神社スカウト全国大会に参加して

南部 将也

琴瀬山神社祭を奉仕して

小林 倫宏

◆岩崎城だより 岩崎城歴史記念館

〒470-0131日進市岩崎町市場67 TEL0561-73-8825

<https://www.mf.ccnw.ne.jp/iwassakijo/>

◇61 2023.7 A4 4p

館長のおはなし

岩崎城にまつわる民話 城山の木魚ガエル

収蔵品紹介 赤池村誌 昭和四十六年

夏の岩崎城 特別展「語れ継がれる小牧・長久手の戦いの記憶」／第

2回岩崎城歴史講座 小牧・長久手の戦いのきっかけ地「犬山」／

岩崎城ボランティアガイドが発足しました！

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-0847西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇78 2023.9 A4 4p

次回予告 西尾市岩瀬文庫企画展「植物への恋文—本草書から牧野富太郎の手紙まで」

蔵書紹介 『本草図譜』（46-45）44冊 岩崎灌園著 文政13（天保元・1830）年刊

国登録有形文化財

旧書庫・おもちゃ館保存活用へのあゆみ その2—コア抜き調査
第18回にしお本まつり／第4回岩瀬弥助記念書物文化賞受賞者決定!!

◆刈谷市歴史博物館NEWS

〒448-0838刈谷市逢妻町4-25-1 TEL0566-63-6100 2019年創刊

<https://www.city.kariya.lj.jp/rekihaku/>

◇14 2023.10 A4 4p

次回展示 企画展「姫たちの想い—家康を支えた水野家の女性たち」

解説 女性の肖像から見える「姫たち」の姿

於大の方（伝通院）／妙春尼（妙西尼）／かな姫（清浄院） 水野 節子
報告

企画展「北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」 永井優香子
山車スペースから山車2両を搬出しました 長澤 慎二

コラム 歴博周辺の鳥—雉・キジ 山下 智也

◆新編知立市史だより

〒472-0053知立市南新地2-3-3 知立市歴史民俗資料館内 TEL0566-83-6789

2010年創刊 <https://www.city.chiryu.aichi.jp/section/hensan/>

◇13 2023.5 A4 8p

表紙 家康ゆかりのお城めぐり 古宮城跡（新城市）／松平城跡（豊田市）

部会だより

知立市の近現代を知る 土屋 武志
戦後知立市の町内会 久保 正明
事務局だより 来迎寺城跡の再検討 中川 貴皓

◆名古屋市博物館だより

〒467-0806名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 TEL052-853-2655 1977年創刊

<https://www.museum.city.nagoya.jp>

◇236 2023.10 A4 6p

いよいよ、長期休館へ 津田 卓子

豊楽焼 浜松文茶碗 島村 桂子

◆名古屋城調査研究センターだより

〒460-0031名古屋市中区本丸1-1 名古屋城総合事務所

TEL052-231-1700 2020年創刊 <https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/center/>

◇4 2023.3 A4 4p

調査研究センターの裏方仕事

小村 拓也

発掘された名古屋城

天守台／搦手境門／西之丸／表二の門／二之丸庭園

文献資料担当より 孔雀の尾が長すぎて遠回り!?

今和 泉大

◆NEWS LETTER ふたば便り 文化のみち二葉館（名古屋市旧川上貞奴邸）

〒461-0014名古屋市東区撞木町3-23 TEL052-936-3836

<https://www.futabakan.jp>

◇37 2023.8 A4 4p

二葉館のある風景

山下 達治

文化のぶらりさんぽみち 番外編(18) でんきの科学館

二葉館あれこれ(18) クローズアップ「配電盤」

IRODORI いろどり トランク

書庫棟から 愛知のミステリ作家

◆古橋懷古館だより

〒441-2513豊田市稲武町タヒラ8 TEL0565-82-2100 2017年創刊

https://furuhashikai.com/kaikokan_top

◇14 2023.10 A4 8p

稲武シルクを守り伝えるための新ブランドと新商品づくり

にぎたえしるく湯—ゆずの香り、にぎたえしるく湯—森の香り

古橋 真人

古橋暉兒と農談会(3)

古橋 史江

古橋懷古館所蔵資料と私

飯塚恵理人

古橋暉兒「伊勢多賀参宮雜記」

渡邊 健二

蔵書紹介 館蔵漢籍紹介(6)一医書(1)

張 艶

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497

年5000円 1961年創刊

◇628 (63-6) 2023.11 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 銀鏡神楽(ししとぎり)

12月14・15日 宮崎県西都市銀鏡(しろみ)

須藤 功

椎葉神楽

須藤 功

東京・青梅大祭の山車

石川 博司

◆れきしみち 安城市歴史博物館

〒446-0026安城市安城町城堀30 TEL0566-77-6655 1991年創刊

<https://www.ansyobunka.jp>

◇130 2023.10 A4 8p

特別展 安城譜代二「三河本多一族」

文責・千田佑香

企画展「家康と三河の城」

文責・西島康介

安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く(16)

—安城西部中学校区～三河安城・二本木

文責・片岡 晃

滋 賀 県

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇143 2023.12 A4 4p

龍一天翔る霊獣—

能面 泥黒髭 甫閑満猶作 江戸時代 享保12年(1727) 当館蔵

展示案内 2023年12月～2024年3月 テーマ展 展示室1 龍一天翔

る霊獣—、特別公開 展示室1 雛と雛道具、テーマ展 展示室1

数寄と清風—井伊直亮の茶の湯と煎茶

資料紹介 側役日記—「殿様の日常」の記録

研究余録 金亀玉鶴 井伊直中の四十歳を祝う漢詩を呈した人々 早川 駿治

京 都 府

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34 TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇142 2023.8 B5 218p

福岡霊洞観の存在—法雲明洞「遊霊洞観記」を中心に

林 観潮

靈元上皇勅撰桃葉編 藤原韶光編撰 月潭道澄 大隋道龜校訂

林汝達／詹石窗標註

聯額と名所図会をめぐる	鈴木 洋保
了翁禅師寄進鉄眼版一切経について—武蔵国金鑽大光普照寺を例に	内山 純子
大和州の黄檗廃絶寺院志	石渡 吉彦
若桜藩主池田家の墓碑考察	秋元 茂陽
松隠堂命名の由来をめぐる一考察	野川 博之
無染浄善の東近江地域における活動について	寺前 公基
資料紹介 維新後の本山混乱を綴った記録 —「本山維新後巔末及退院遺書」	住谷 瓜頂
『大明独立老人用薬方』の基礎的研究 翻刻・訓読・語釈・解説(上)	
賈光佐／菊田真依子／張昊／楊家輝／暢詠沂／趙周欽	
独立性易が伝来した「脈論」序説	賈 光佐
黄檗尼僧體眞元如について	田中 智誠
滋賀県寿福寺第七代覚芝廣本について	田中 智誠
Views from within Manpukuji	John Johnston, PhD
令和三年度事業報告	

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内	
Tel075-462-4292 年8000円 1930年創刊 https://www.shibikai1930.com	
◇939 (93-9) 2023.11 A5 36p 918円	
画論研究3 『画筌』の研究—現代語訳付(12)	寺本 健三
フロイスが記した秀吉時代の高野山	木下 浩良
第1108回例会 京都・王城鎮護の地を訪ねて 4月9日	中尾 純子
第1109回例会 嵯崎磨崖仏とその周辺	丸山 貞

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 Tel075-465-8151 1993年創刊	
https://rwp-museum.jp	
◇91 (31-2) 2023.11 A4 4p	
知らざあ言って聞かせやしょう：事務局長リニューアル奮闘記	市井 吉興
戦争の記憶を分かち合う	
—リニューアル後の「個人の体験」の展示について	大月 功雄
ボランティアガイドコラム	
ミュージアムのリニューアル開館に向けて	鳥羽 洋子
学生スタッフ 活動記録	
ミュージアムガイドスタッフ編	山中 海音

遊心雑記 平和と言えばハト？
ピースコモンズを新設しました！

安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇431 2023.11 B5 12p

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮—山直郷内畑村の行方(5) 池田 雅治
史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(4) 井田 寿邦
史料紹介 泉州の寺社(29) 佐野村九社関係文書 藤田家文書イ38の
2 恵美須明神葺替願書／藤田家文書イ38の8 乍恐願書

◇432 2023.12 B5 12p

立石垂願念典が生きた時代と人々(終) 立石家譜番外 敬典事績 立石 元
史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集
二 書写の写(続)／三 他の写など 井田 寿邦
史料紹介 泉州の寺社(30) 佐野村九社関係文書 藤田家文書イ24
神文 元文二(一七三七)八月十三日

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇888 2023.11 A4 8p 300円

薬師寺金堂 薬師三尊像をめぐる 関根 俊一
古代磐余を考える 相原 嘉之
大和文華館特別企画展「朝鮮螺鈿の美」

◇889 2023.12 A4 8p 300円

書写山圓教寺の伽藍・建築・仏像をあるく 富島 義幸
百済王氏の動向と古代寺院 網 伸也

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇659 2023.11 B5 22p

「日本古城友の会創立60周年記念式典」と記念見学会 近江 観音寺
城を訪ねる(12月・第722回例会) 日本古城友の会創立60周年記念

式典、記念見学会 近江観音寺城 記念見学会の見どころ

10月・第720回例会報告

探訪先：近江 甲賀の城 担当幹事：森田又一

報告・森田又一

越後村上城と慶長出羽合戦の城を訪ねて(後編)

宮島 茂

別冊(B4 7頁) 第721回 若狭 後瀬山城・小浜城を訪ねる

担当幹事：坂本昇・下岡力

◇660 2023.12 B5 16p

日本古城友の会総会・天王寺区史跡巡りの御案内(1月・第723回例会)

／2月・第661回例会のご案内 山城 鹿背山城

11月・第721回例会報告 訪問先：若狭 後瀬山城・小浜城

担当幹事：坂本昇・下岡力

報告・下岡 力

別冊(B4 4頁) 第722回 近江 観音寺城を訪ねる 案内講師：中

井均先生(滋賀県立大学名誉教授) 担当幹事：中西徹・平川大輔

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇421 2023.11 B5 16p

聖徳太子墓と叡複寺北古墳(下)

荊木 美行

百舌鳥古墳群を訪ねる

古高 邦子

読書室 水谷千秋著『教養の人類史 ヒトは何を考えてきたか』

◇422 2023.12 B5 20p

神武天皇東遷伝承形成史論(上)―阿陀の鶺鴒と吉野の国柄

平林 章仁

古市古墳群北西部の遺跡を訪ねて―天井石を見つけよう

加藤 豊子

兵 庫 県

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊 <https://www.kakenkyou.org>

◇76 2023.11 B5 164p 1800円

肥前・龍蔵寺氏と同族諸氏の祖系

宝賀 寿男

苗字と地名の関係について(上)

安原 繁俊

信濃小笠原氏系大井氏の系譜と由利十二頭

真野 信治

先祖調べは大人の総合学習(5)―ネットで先祖調べ シリーズまとめ

野口 裕子

丹波国柏原氏楠氏系図	岡田 有史
北河内の倉氏・平池氏	岡田 有史
会津富田氏の出自に関する研究一家紋・清和源氏説・丈部氏説	木下 祐也
続々紀姓平山氏寸考	平山 旦清
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(12-3)	浪平 博司
表紙家紋「対い蝶」	

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊 <https://www.kakenkyou.org>

◇86 2023.11 B5 8p

はじめまして！一番遠い親戚さん	馬原 浩一
家系研究協議会 令和5年度 夏の例会(関東例会)報告	
『家紋から見た武家の出自とエトセトラ』 高澤等氏	(馬原)
葵の御紋こぼれ話	安原 繁俊

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇92 2023.11 B5 6p

日神を船に出し奉ること	川畑 勝久
新刊紹介 加藤隆久著『神戸・生田の杜から日本を考える』	廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321
<https://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇668 2023.11 B5 8p

十一月行事 堀内ゑびすコレクション展 見学会、会員懇親忘年会
西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(8)

旧甲東村の中島橋をさがして	早栗佐知子
西宮に住んだ、文楽の人々	河内 厚郎
九月行事 観月祭斎行、月見の宴を開催しました	事務局
会員活動報告 OSAKA防衛防災フェスティバル	中村宏／山本純子

◇669 2023.12 B5 8p

一月行事 西宮神社境内末社 百太夫神社祭 参列／十二月行事 堀内ゑびすコレクション展「福の神さま ゑびすさま」見学会	
西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(9) 駅にまつわる橋	早栗佐知子

西宮のあんこ紀行(1)

小野 篁

西宮神社の渡御祭産宮参り

二宮 健

会員活動報告 海自・外洋航海練習艦はたかぜに乗艦

中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇361 (62-6) 2023.12 A5 49p 600円

特集 播磨の前近代史

ひょうご史こぼれ話 阪神間における企業家の繋がり

小林林之助と関西財界

落合 康裕

防空監視哨について(続報)―三木城跡の戦争遺跡など

柴田 昭彦

赤松氏の遠祖・始祖伝承をめぐって

―『得平記』で読みとる、村上源氏出自説の検証

依藤 保

河合隼之助研究ノート(3) 積極的経済政策の導入(2)

御国用積銀講の設立

藤原 龍雄

書写山寺領の天保十三年夢前川水論

―姫路藩と地域の水利秩序変更をめぐって

山本 邦昭

門崎砲台跡遺跡の保存要望 南あわじ市教育長が活用など回答

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年4月6日～4月22日)

大国正美／有吉康德

奈良県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <https://www.oomiwa.or.jp>

◇146 2024.1 B5 72p

年頭ご挨拶

井上 卓朗

第十七回東京セミナー講演会

国つ神 大物主大神―古事記の語る倭国の誕生

菅野 雅雄

第三百回三輪山セミナー講演会

大神神社の祭祀と「斎成」

西宮 秀紀

大神氏の成立と展開

鈴木 正信

三島由紀夫と大神神社

―『豊饒の海(二) 奔馬』と大神神社所蔵の新資料から

木谷真紀子

◆さきがけ 維新の魁・天誅組

〒637-0043五條市新町3-3-1 五條市立民俗資料館 TEL0747-22-0450

◇72 2023.10 A4 6p

側体歩行

柴田 知啓

百六十年目の夏に寄せて

高野 知宙

瓜生純真な志の魅力を知った旅—維新の魁の地を巡って

松村 透

天誅組古文書教室に参加して

仲野 茂代

天誅組義挙160年記念特別展示「遺稿集から読む天誅組—松本奎堂と
森田節齋—」 五條市立民俗資料館

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇26 2023.10 A5 46p

水平社創立一〇〇周年記念 展示リニューアルオープン記念寄稿

水平社運動は永遠に続く

西口 敦子

水平社博物館がリニューアルして

辻野 博勝

部落問題学習の礎として

芝崎 照弘

水平社博物館のリニューアルオープンに寄せて

奈良県高等学校人権教育研究会

「水平社運動の心」と私

中本 克広

水平社博物館のリニューアルオープンに寄せて

西邨 三郎

事業報告 二〇二三年「熱」と「光」のショートレター」各部門受
賞者を表彰

水平社博物館ニュース(2022年9月1日～2023年8月31日) 金剛葛城地
域博物館ネットワーク協議会／人権資料・展示全国ネットワーク

和歌山県

◆紀州古城館情報 和歌山城郭調査研究会会報

〒641-0052和歌山市東高松3-6-16 白石博則方 TEL073-445-0122

◇374 2023.7 B5 12p

紀宝町 鵜殿西遺跡(第10次調査)で大溝が出土

鵜殿氏の館・屋敷跡か

白石 博則

第二回紀州古城館交流会 奥熊野の城館跡の構造や有田市平地城館跡
への認識深める 熊野市猪ノ鼻城跡 報告・野田理さん／岩本城

跡 報告・中口孝行さん／辛奴田城跡 報告・渡瀬敏文さん／上里
城跡・長島城跡 報告・佐藤純一さん／有田市における平地城館の
現況と復元 松本崇秀さん
報告 すさみ町下地の近世狼煙場遺構推定地の調査 白石 博則

◆国際熊野学会会報

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課
TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊
◇40 2023.12 A4 4p
西行伝説一班—近現代文学への波及 半田 美水

鳥 取 県

◆鳥取県立博物館ニュース

〒680-0011鳥取市東町2-124 TEL0857-26-8042
<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>
◇36 2023.9 A4 8p
EXHIBITION INFORMATION
企画展「勾玉の世界」 小山 浩和
テーマ展示 令和5年度鳥取県立博物館美術部門 シリーズ：美術
をめぐる場をつくるⅤ「赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダ
イス」 佐藤 真菜
企画展「ミュージアムとの創造的対話04 ラーニング／シェアリン
グ」 赤井あずみ
企画展「生誕200年 根本幽峨 NEMOTO Yūga—近世鳥取画壇の
「黄金時代」最後の華—」 山田 修平

COLUMN コラム

ダイオウイカの「口と舌」 一澤 圭
武士は太ると辞任する 来見田博基
開催告知 国際シンポジウム エゾオオカミとタスマニアタイガー—
日豪の絶滅動物から考える人と自然の新しい関係 川上 靖
米子市で共同企画展を開催！ 令和5年度鳥取県アートミュージアム
連携協議会共同企画展 米子市美術館開館40周年記念コレクション
展共催「DRAWING ADDICT !! —ハマる素描」 友岡 真秀

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇216 2023.11 B5 38p

私の出雲大社探訪(3) 拝殿から本殿へ

木村 進

コラム 幼少期の出雲阿国は何をしていたか?

山崎 裕二

旧鵜鷺中学校 タイムカプセル物語

塩田 直也

十六世紀の交易港、宇龍浦の繁栄

岩成 俊策

読書コーナー

随 想

土方 幸子

書籍紹介『出雲の歴史と地域文化①』を発刊!

交易財団法人いづも財団(事務局長 坂本隆)

紙上「古文書講座」第6回(中級編②)

出雲市文化財課(文責・出雲市文化財課 荒川英里)

ギャラリー展「出雲市大社町・ひろげ遺跡—700年続いた火のまつり

の場」

出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)

企画展「伊勢と出雲」

島根県立古代出雲歴史博物館(松尾充晶)

令和5年(2023)4月～6月出雲市大社町年表

編 集 部

◆松江歴史館NEWS MATSUREKI

〒690-0887松江市殿町279 TEL0852-55-1607 2021年創刊

<https://www.matsu-reki.jp>

◇4 2023.3 A4 8p

館蔵品展「平塚運—いざ摺らん」開催中! / スポット展示・ミニ展

示の紹介 スポット展示 出雲札の巡礼道、ミニ展示 不昧のハン

コ

企画展「出雲国の白隠・大雅・風外」開催特報! 企画展「出雲国の

白隠・大雅・風外—往来する禅と書画」

松江おもしろ談義ダイジェスト 8月「島根の民藝を支えた人々」/

9月「明治時代のワクチン接種—松江の種痘」/10月「幕末・明治

の松江の絵師が描いた「松平直政初陣図」について

雲陽秘事記あらかると(3) 願楽寺の濱納豆

藤岡 大拙

松江歴史館 基本展示室案内

松江歴史館のお仕事 展示替え/ひと足のばして 歴史スポットめぐ

り 北惣門橋
地域ゆかりの資料紹介 わがとこに、何があーかね? 雑賀町編

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <https://bingo-history.net>

◇232 2023.11 A4 16p

備後国衆列伝(17) 神石郡の高光氏

田口 義之

研究レポート 福山城下惣構北側の防御Ⅱ

瀬良 泰三

ワンショット・レポート―歴史講演会&納涼会

調査報告 中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

ワンショット・レポート―歴史講演会「志川滝山合戦と宮氏の盛衰」

近世福山の歴史講座 48回 松平時代 前半の部

ワンショット・レポート―ぶら探訪「大佐山白塚古墳を歩く」

研究レポート 草戸中山城跡について

中世史部会(文責・杉本憲宏)

小林悠一のかんたん古文書講座 第11回

ワンショット・レポート―特別講演会「謎の山城 茨城を探る」

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇392 2023.11 B5 12p

講演「三原城の遍歴」大盛況 市郷連大会で講演中の山根講師 於サ

ン・シープラザ第三研修会 2023.10.16 撮影・鈴木健次(宮浦)

今月の各地 牧野富太郎と三原の植物

吉原和喜

本町いろは歴史講座 「シン・本町物語3 前刷り」

令和5年9月28日 三原市本町会館

橋本 敬一

三原の、広島県の、江戸期の陸上交通(4)

三好 邦範

田邊達雄氏 絵画展のお知らせ

事務局

◇393 2023.12 B5 16p

毛利氏四本目の矢 宍戸氏を訪問 宍戸氏ゆかりの理窓院本堂前にて

2023.11.03 撮影・西村雅幸(沼田東町)

佐木島にグランピング施設を

下西 勝彦

令和5年秋のバス研修旅行 毛利元就吉田城入城500年記念

郡山城と毛利一族 四本目の矢 宍戸氏ゆかりの史跡巡り

吉岡 利文

四本目の矢 宍戸氏を訪ねて

津島 敏子

郡山城と毛利一族 四本目の矢 宍戸氏ゆかりの史跡巡り
 郡山城と毛利一族 四本目の矢 宍戸氏ゆかりの史跡巡り

一瀬 尚志
 正田 哲夫

山 口 県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 TEL083-924-2116 1954年創刊
<http://www.ysflh.jp>

◇129 2023.6 A5 111p

明治十九年山口県のコレラ病流行と公助

大津郡での備荒儲畜法施行規則の適用

木京 睦人

酒垂公園に残る植治の流れ

藤田 智

蓋井島白瀬海軍防衛所の遺構

工藤 洋三

琳聖太子「りんしょう」和音標榜の該地

—『国史大辞典』「りんせい」表名論の死角舞台

北川 健

岸龍山について

影山 純夫

サンカ・ジン・バリ・ローニン

金谷 匡人

歴史と現代

長州藩の歴史に学ぶ地方創生の取組に向けた一考察

土井 浩

調査と探求

湊神社の狛犬がつなぐ江戸時代の青谷と下関、廻船ルート

小川 丹

歴史散歩

中部家資料が里帰り一下関市立大学鯨資料室から長府庭園へ

岸本 充弘

地方だより 大島地区／岩国・玖珂地区／柳井地区／熊毛地区／光地区／下松地区／防府地区／山口地区／宇部地区／美祢地区／下関地区／長門地区／萩地区

発表要旨 第137回研究大会

発掘調査で見る周防鑄銭司の銭貨生産

丸尾 弘介

多々良「藤根」のネーミングと渡米系標榜

—「鎌足」藤原賜姓への多々良氏反応追従の効能と限界

北川 健

文政期萩藩の地名調査について

—毛利家文庫「和名抄現在名引合詮議物」から

重田 香澄

和同開珎絵葉書をめぐる人びと—濡田廃寺と長門鑄銭所

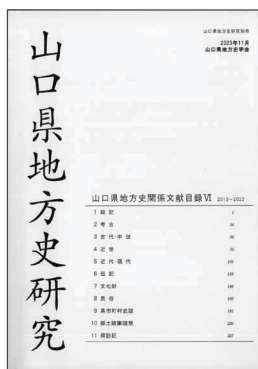
北島 大輔

長門市総合文化財センター(愛称ヒストリアながと)の開館に携わって

上田 穰

幕末期における加藤有隣の歴史的評価について

- 一文久期を中心に 赤井 誠
 奉勅攘夷体制への志向と木戸孝允
 一文久三年八月十八日政変前後を中心として 下田 悠真
 ◇130 2023.11 A5 120p
 巻頭言 当会創立七十周年を迎えて 脇 正典
 大内義隆の官位に関する一考察 西田 智洋
 吉田松陰が幕末長州藩政治に与えた影響について
 一「破約攘夷」に着目して 相島 宏美
 長門峡を世界に発信した男
 ートマス・H.サンダース『My Japanese Year』を読む 北島 大輔
 宇部炭田における長生炭鉱について 内田 鉄平
 戦国期毛利氏と西伯耆 日置条左エ門
 安政六年における大楽源太郎 宮崎 航平
 史料紹介 萩博物館所蔵村田家資料中のジュリアおたあ関係文書 平岡 崇
 歴史散歩 関門のバナナ 日高 千晶
 地方史の広場 ヒストリアながと 長門市総合文化財センターの概要 上田 穰
 地方だより 大島地区／岩国・玖珂地区／熊毛地区／周防地区／山口
 地区／美祢地区／長門地区
 ◇別冊 2023.11 A5 239p
 《山口県地方史関係文献目録Ⅵ 2023～2022》
 1 総記／2 考古／3 古代・中世／4 近世／5 近代・現代／
 6 伝記／7 文化財／8 民俗／9 県市町村誌／10 郷土随筆
 随想／11 探訪記



* 山口県地方史学会が10年ごとに編集してきている「山口県地方史関係文献目

録」の第6冊目である。2013年1月～2022年12月の10年間に刊行、発表された山口県地方史関係の論文、単行本を収録する。それ以前の遺漏分もフォローしている。

主要な情報源は、山口県立山口図書館がこの10年間に受け入れた郷土史関係の図書、雑誌に求め、同館の「県内図書館横断検索」システムにより、県内図書館の所蔵情報にも目を配ることができたとのことである。山口図書館には、筆者編『地方史文献年鑑』（白鳥舎発行、岩田書院発売）でも協力いただいております、同館所蔵郷土資料の充実ぶりがよく分かる。

区分は、時代別と主題別を併用し、配列は、編著者名（伝記は被伝者名）の五十音順である。

今回は会創立70周年記念事業の一環で発行されたものであるが、目録は継続的に蓄積されてこそ価値を持つものであり、今後も長期に継続していかれることを期待したい。

香 川 県

◆高松市公文書館年報

〒769-0192高松市国分寺町新居1298 国分寺総合センター 2階

TEL087-874-4147

◇令和5年度 2023.3 A4 18p

〈令和5年度版〉

◆香川県立ミュージアムニュース

〒760-0030高松市玉藻町5-5 TEL087-822-0002 2008年創刊

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>

◇60 2023.9 A4 8p

特集 特別展「映画のレシビ」

高木 理光

Note for Research 調査研究ノート(46)

共同で取り組む調査研究～松平家近代資料の調査から

野村 美紀

展示室レビュー 第87回香川県美術展覧会 飛躍のきっかけへ

鹿間 里奈

収蔵品紹介 香川県指定有形文化財 青貝微塵塗鞘および大小拵

御厨 義道

ミュージアムガイダンス(48) ユニバーサル・ミュージアムこと始め

窪美西嘉子／石井優美

瀬戸内海歴史民俗資料館 れきみんだより 五色台に歴史民俗資料館

を建てる 開館50周年記念展「歴民コレクション展Ⅰ 瀬戸内を

集める」

松岡 明子

愛媛県

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇411 2023.10 A5 71p 750円

《創立110周年記念特集号(2)》

特集 松山城研究の最前線

特集にあたって

「長帳(山内家文書)」にみる松平定行

発掘調査から見えてきた松山城の歴史と価値

特集 松山城研究の最前線 松山城下の武家屋敷

伊予における近世支城―藩庁―古城制の前史

歴史余話 ある民家の「下張文書」から読み解けるもの

報告 第一四回四国地域史研究連絡協議会(香川大会)参加記

郷土その日その日 自令和5年8月至令和5年8月

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1286回 半井梧菴―多才な顔を持った今治藩医 伊津見

孝明氏、吉田蔵澤の美術史的位置―武人画家、唐画史として 長井

健氏／第1287回 徳川期の加藤嘉明―幕府奉仕・人脈形成からみた

基盤形成 山内治朋氏、内藤素行(鳴雪)の幕末と明治 平岡英氏／

第1288回 地域資料から軍隊・戦争を考える―学校資料・個人蔵資

料の調査経験から 竹中義顕氏、愛媛の防空監視哨 5―大東亜戦争

における民間防空の一樣相 多田仁氏

井上 淳

水松 啓太

楠 寛輝

井上 淳

藤田 達生

佐々木正興

永井 紀之

長崎県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0024五島市野々切町2567-2 清水大基方 TEL0559-73-5861

◇116 2023.11 A5 96p

巻頭 令和五年六月十日 通常総会開催

感謝の退任

就任のご挨拶

五島灘を渡った雲水の旅路(4)

―森と湖の大地カナダへそして新天地へ

酒屋町春秋(4) 「春から夏へ」

荒神嶽嘯月圓碑

石田城「城に隠された繁栄の謎」(2)

筑田 俊夫

清水 大基

巨海 玄道

高橋 恒晴

中村千代治

増田 常德

「魏志」東夷伝を読み解く	尾崎 朝二
横浜だより(2) 五島帰省日記	柳田 煌海
思い出すことなど(6)	内海 紀雄
追悼 筑田先生を偲んで	祢宜 渉
追悼 燃焼の人生を全うー筑田俊夫・前会長を追悼して	内海 紀雄
そのほか・トピックス 新会員のご紹介／潮の目 ある日・ある時・	
五島の動き／報道等に見る会員のご活躍／ご寄付御礼／身近な知	
人・友人へ会員加入の声かけを／寄稿のきまり	
コラム とらわれ／三十キロまぐろ／タイタニック事故／自動音声案	
内／祇園山笠	(筑)

寄贈図書紹介

◆鎌倉の埋蔵文化財26 令和3年度発掘調査の概要

鎌倉市教育委員会文化財課編・刊(〒248-0021 神奈川県鎌倉市御成町12-18
鎌倉水道営業所庁舎2階 TEL0467-61-3857) 2023年3月 A4 13頁
令和3年度の鎌倉市内で実施された発掘調査の概要を中心にまとめる。ごあいさ
つ／武蔵大路周辺遺跡(扇ヶ谷三丁目444番地点)／若宮大路周辺遺跡群(雪ノ下一
丁目161番36地点)／若宮大路周辺遺跡群(大町一丁目1086番地点)／北条時房・顕
時邸跡(雪ノ下一丁目261番地点)／甘縄神社遺跡群(長谷一丁目236番1地点)

◆藤沢市川名森久地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ

川名森久地区遺跡発掘調査団著 湘南考古学同好会(〒251-0044 神奈川県藤沢
市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方) 2023年12月 B5 86+図版36頁
1988年(昭和63)5月から1989年(平成元)3月にわたって実施された川名守久地区
遺跡群(神奈川県藤沢市川名字森久256番地外)の第Ⅰ次発掘調査報告書である。
第Ⅱ次発掘調査報告書は1996年(平成8)に刊行済み。例言／凡例／総目次／挿図
目次・付表目次・図版目次／第Ⅰ章 調査経緯(調査に至る経緯、調査中の協議)
／第Ⅱ章 遺跡概観(遺跡の地形と地理的環境、周辺の遺跡と歴史的環境)／第
Ⅲ章 調査経過(調査区の設定と調査の方法、調査経過、試掘トレンチの記録)
／第Ⅳ章 低地の遺構と遺物(基本土層、縄文時代、古墳時代～奈良・平安時代
(堅穴住居址、土壇・溝)、近世)／第Ⅴ章 丘陵の遺構と遺物(古墳時代(横穴墓)、
鎌倉時代～室町時代(やぐら・火葬施設))／第Ⅵ章 まとめ(調査の成果、今後
の課題)／報告書抄録

◆第31回企画展 記憶のなかの西観音寺ー建立から廃仏毀釈まで

大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3
大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288) 2023年10月 A4 40頁

大山崎町歴史資料館の開館30周年記念第31回企画展の図録。行基開基という由緒が伝えられ、江戸時代後期の名所図会にもたびたび描かれながら、明治維新の廃仏毀釈により椎尾社という神社に変貌した西観音寺について、地元で受け継がれてきた文化財を中心にその歴史を振り返る。ごあいさつ(福島克彦)／往時の西観音寺／慈悲尾山寺の建立／坊院と門前／本末関係と社僧／廃仏毀釈と椎尾社／記憶のなかの西観音寺―建立から廃仏毀釈まで(福島克彦)／資料解説／展示品一覧／参考文献

◆後記

関東大震災で起きた朝鮮人集団虐殺について、「政府内に確認できる記録が見当たらない」と、繰り返し述べてきた官房長官が、自らの政治資金による裏金作りで辞任に追い込まれたのは何とも皮肉なことといわざるを得ない。どちらもあるものを無いが如くに隠蔽したものであり、その体質は同じだ。

実際に記録は存在しないのか。そんなことはない。震災翌年に、事件に関与した人物の恩赦を閣議決定した記録が国立公文書館に保存されている。このことが明らかにされると、今度は、「公文書館は内閣府の所管する独立行政法人で、国とは異なる法人格を有する」(『毎日新聞』2023年11月22日 p.5) と、国の文書ではないといわんばかりに。これはもう虚言、詭弁としかいいようがない。

その後も、防衛省防衛研究所史料館に、埼玉県熊谷市で保護のため警察署に移送中の朝鮮人40人余が、殺気立った群衆によって虐殺された報告書が所蔵されていることが分かった。それでも、「文書自体が極めて古いもので、それ以上の内容を把握することができない」「事実関係について確定的なことを述べることは困難」(警察庁官房長、前掲紙)というのであれば、わが国民衆が他国民を虐殺したなどという、これほど不名誉な風説を、政府自らが調査し、汚名をそそいで欲しい。

国の文書を持ち出すまでもなく、これまでに多くの歴史研究が虐殺の事実を裏付けている。政府の態度はその研究成果を黙殺し、愚弄するものだ。歴史研究者はもっと怒らなければならないのではないだろうか。(飯澤)

地方史情報 165 2024年(令和6年)1月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。